

環境写真記録調査	
柴田 英美 ((財)日本野鳥の会 サンクチュアリ室) まとめ	
調査場所	上郷森の家テラス
調査日	1994年4月19日、1999年7月23日、2000年8月2日、 2001年8月2日、2007年12月27日
調査目的	1986年より定期的に同じ場所から撮影した環境記録写真より、コナラの林の竹林面積を比較する。
調査方法	1) 森の家テラスより、コナラの林の竹林を撮影した。 2) 写真を拡大コピーし、竹林部分の面積を測定した。 3) 1994年の面積を基準とし、1999・1999・2000・2001・2007年の割合を算出した。
調査結果	1994年を基準とすると、竹林面積の割合は、1994 : 1999 : 2000 : 2001 : 2007 = 1 : 1.5 : 2.3 : 1.4 : 3.0 という数値を得た (1999~2000年の値は調査報告2001より引用)。
考察 :	1994~2001年の6年間で竹林面積は2倍以上広がっていたが、2000~2001年に伐採が行われたことにより竹林の面積は縮小した (調査報告2001参照)。その後、横浜自然観察の森友の会の雑木林ファンクラブが年に1回ほど間伐を行ってきた。今回の環境記録写真の面積を測定した結果、竹林面積は1994年と比較して約3倍、2001年と比較して約2倍拡大していた。 この結果から、竹林の拡大を抑えるための適切な管理方法を検討する必要があると考えられる。また、今後も継続して竹林面積を測定する必要がある。

自然情報収集調査			
柴田 英美まとめ ((財)日本野鳥の会 サンクチュアリ室) 来園者, ボランティア, レンジャーなど職員			
調査場所 園内全域			
調査日 通年			
調査開始 1986 年	次年度 継続	終了予定	— 年
調査目的 自然・生物の情報を収集し、自然解説・行事、一般来園者へのサービスとして活用する。また、生物リストや生物暦等の自然史資料を作成する際の資料とする。			
調査方法 来園者、レンジャーなど職員、ボランティアの確認した生物の情報を、収集した。情報は、種別・種名・確認年月日・確認内容・記入者を所定のカード(図1)に明記してもらった。これらの情報を月別に、綱別にまとめた。			
調査結果 情報はカードに記入し、このカードは、展示コーナーの自然情報ボードに最新情報として展示した後、閲覧できるようにファイルした。また、情報は入力して蓄積し、2007 年度版自然情報集を作成して、閲覧できるようにした。			

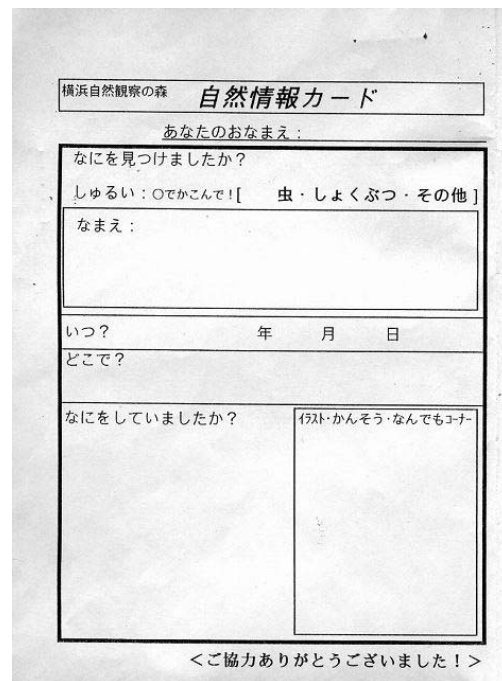


図 1. 自然情報カード

雑木林ファンクラブ 2007 年度炭焼き記録			
雑木林ファンクラブ (横浜自然観察の森友の会)			
調査場所	炭焼き小屋		
調査日	2007 年 5 月 26・27 日、7 月 28 日、12 月 15・16 日		
調査開始	2002 年	次年度 継続	終了予定 一 年
調査目的			
<p>環境管理の際に出た木材の活用方法の一つとして、炭焼きを行っている。2007 年度に炭焼きを行った際の温度変化の計測結果を報告する。</p>			
調査方法			
1. 炭焼き窯には本窯 1 基とドラム缶窯 2 基がある。			
<p>本窯は 2004 年に設置したが、今年 9 月～11 月にかけて耐火煉瓦 104 個を窯内側側壁全面に貼り付けた。熱の外部への漏れが減り窯温度が上がり易くなり、炭化開始時間が早くなることを期待。窯の内容積は 1.1 m³ (従前は 1.2 m³)。最初の 2 回は従前の窯で実施したが、3 回目、12 月 15 日の炭焼きはこの改修した窯で炭焼きを実施した。</p> <p>ドラム缶窯についても、経年劣化したため同時期にステンレス窯に交換した。内容積は右窯左窯とも夫々 0.2 m³。</p>			
2. 温度計設置場所			
<p>本窯はセンサーを窯中央、及び煙突付け根に設置。3 回目の炭焼きでは、窯中央上部(天井より 20cm)に変更したため、計測した温度は従来より短い時間で上昇して記録されている模様。ドラム缶釜は煙突付け根に設置。</p>			
調査結果			
1. 2007/05/26-27 実施			
本 釜 :			
	炭材 : 桜 (丸・割り材)	435.5 kgs.	
	出炭量 : 106 kgs.	収炭率 24.3%	炭の出来具合 : 良好
	木酢液 : 40 ltrs.		
	炭焼き所要時間 :	31:28 時間	

ドラム缶窯 :

左窯 : 竹材 計量せず 出炭 8.5 kgs. 収炭率
右窯 : 竹材 58 kgs. 出炭 10.3 kgs 収炭率 17.8%
竹酢液 6.2 ltrs.
炭焼き所要時間 左窯 6:32 時間 右窯 8:57 時間
温度変化については、図 1 を参照。

2. 2007/07/28 実施

ドラム缶窯 :

左窯 : クヌギ枝材 87.0 kgs. 出炭 18.1 kgs. 収炭率 20.8 kgs.
炭焼き所要時間 左窯 10:20 時間
温度変化については、図 2 を参照。

3. 2007/12/15-16 実施

本 釜 :

炭材 : 桜 (割り材 但しよく乾燥した) 372 kgs.
出炭量 : 65.8 kgs. 収炭率 17.7% 炭の出来具合 : 良好
木酢液 : 15 ltrs.
夜 21:00 時 焚口仮締め、翌朝 06:00 再開。炭焼き所要時間 :
32:20 時間
温度変化については、図 2 を参照。(温度センサーの設置位置を
窯上部に変更したため、従来のデータとは違いがあった筈。今
後検証する必要あり)

ドラム缶窯 :

左窯 : 竹材 40 kgs. 出炭 12.8 kgs. 収炭率 32%
右窯 : 竹材 44 kgs. 出炭 9.9 kgs 収炭率 22.5%
竹酢液 1 ltrs.
炭焼き所要時間 左窯 8:32 時間 右窯 8:32 時間
温度変化については、図 3 を参照。

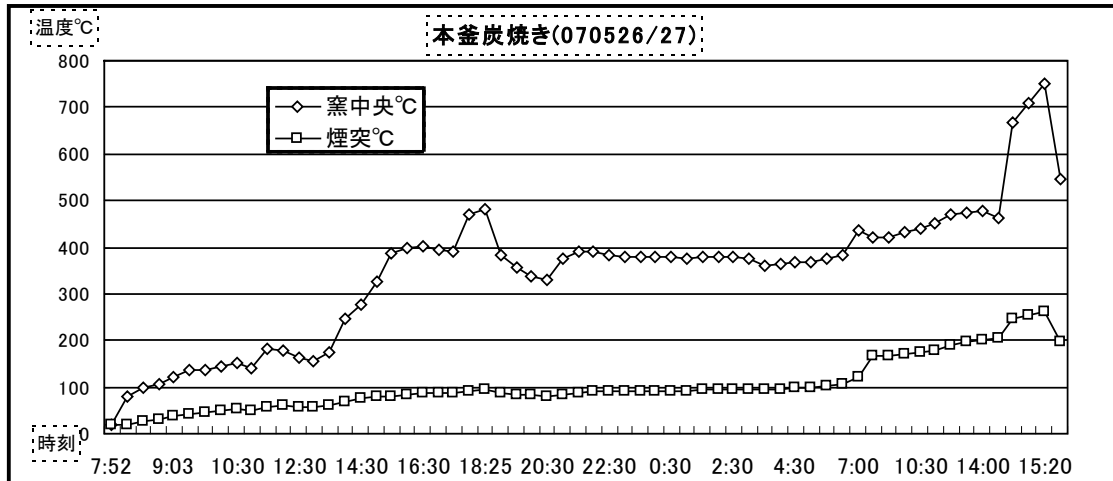


図 1

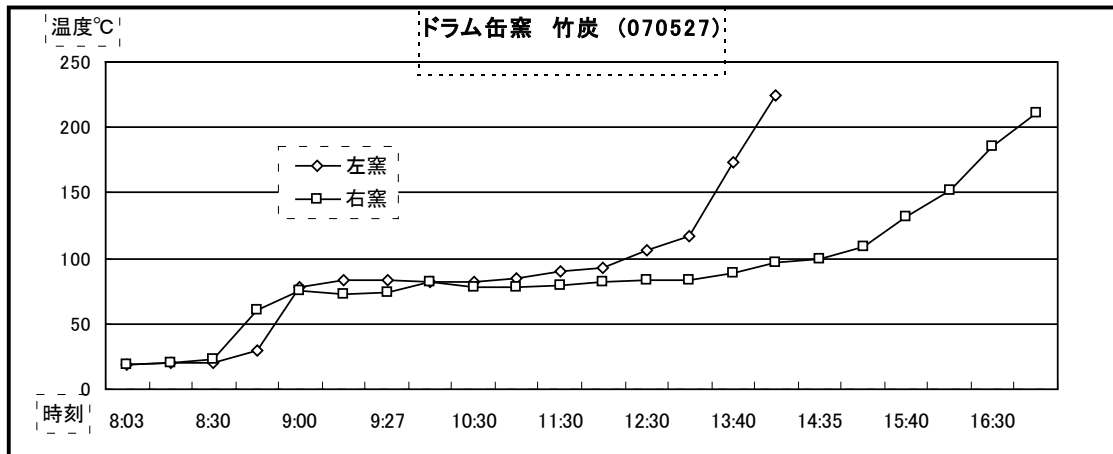


図 1-2

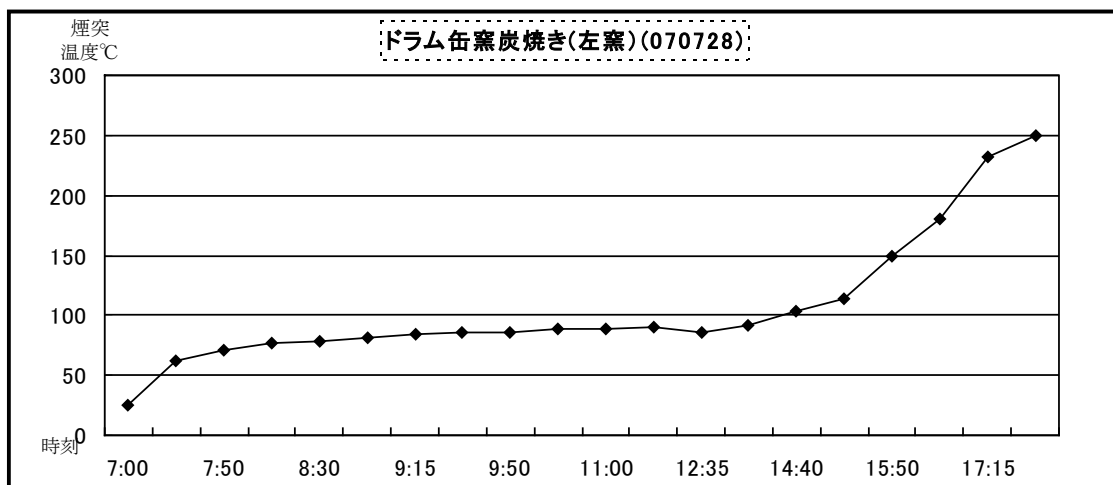


図 2

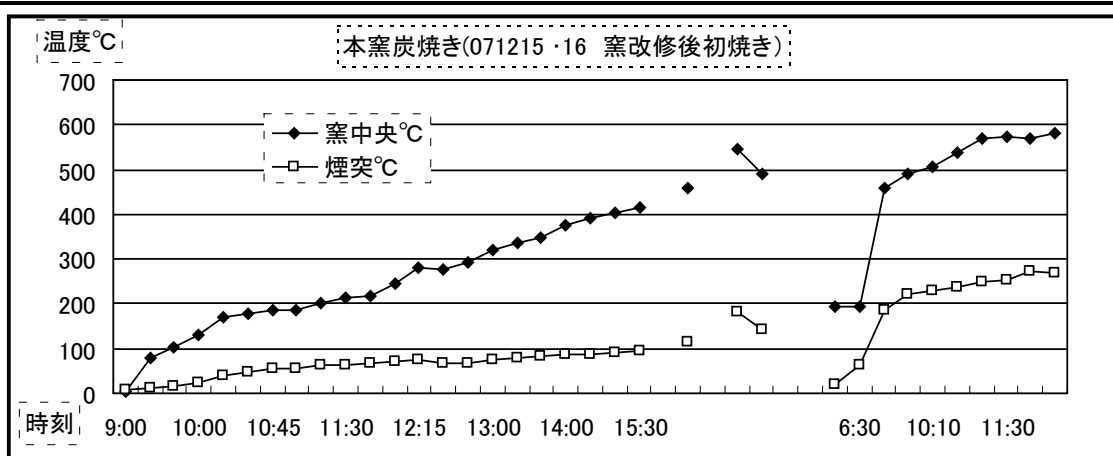


図 3

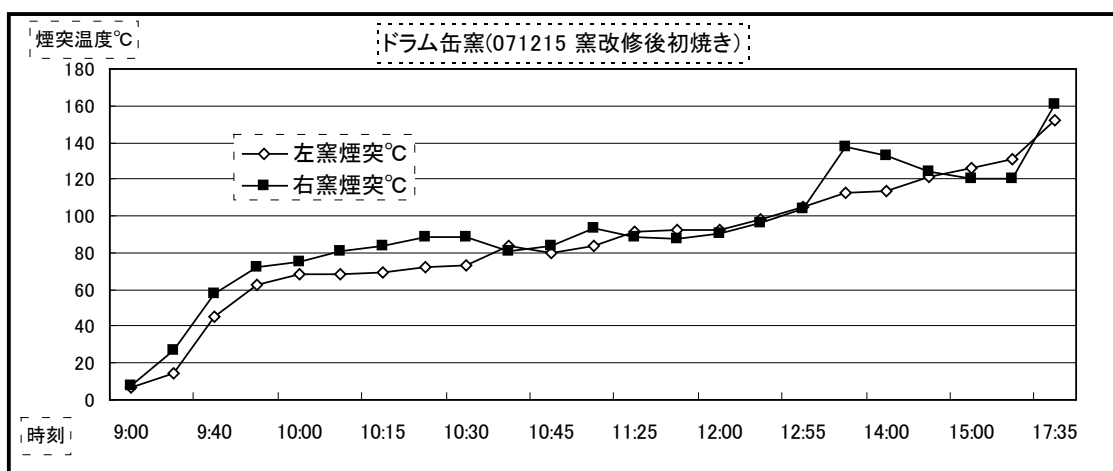


図 3-1

行事効果測定調査	
渡邊 初恵 ((財)日本野鳥の会 サンクチュアリ室)	
調査場所	横浜自然観察の森
調査日	2007年6月23日・7月22日・8月26日・9月9日
調査開始	一年 次年度 <u>継続</u> / 終了 終了予定 一年
<p>調査目的：</p> <p>連続行事である「森と水辺をつなぐ環境保全ボランティア講座」参加者の男女比・年齢内訳を明らかにするとともに、各回の講座の満足度及び講座のねらいでもある環境調査、環境管理、環境教育の連携についての理解度を明らかにし、今後の講座の参考とする。</p> <p>行事の概要：</p> <p>5月：・説明会 参加登録者数 22 名。一般参加者と友の会会員の参加者。</p> <p>6月：・環境調査「水辺の調査体験」 いたち川源流域における水生生物の調査体験（調査地点の環境を調べ、水生生物を採取し同定する。）確認されたいきもの情報を元に、イラストや写真で水生生物がどのような場所にいたのかなどを来館者に伝えるための展示を作成する環境教育体験も行った。その後センター内に展示した。参加者 17 名</p> <p>7月：・環境管理「希少植物に光を」 カシの森保護区内の希少植物の数を数える環境調査体験と選択的草刈（希少植物を保全するため著しく繁茂するササ・アオキを刈る）環境管理体験を行った。参加者 17 名</p> <p>8月：・環境教育「森と水辺をつなぐインタープリターを目指そう」 森と水辺の両環境を利用するいきもの（カエル・ホタル・トンボ・カワセミ）について調査報告書等調査資料から情報を集める環境調査体験と、</p>	

そのいきものの暮らしを来館者に伝えるための絵巻物を作成し、それを用いて、一般来園者に説明を行う環境教育体験を行った。その後、絵巻物はセンター内に展示した。参加者 17 名

9 月：・まとめの会

講座全体の振り返りを行い、参加者に①講座で印象に残ったこと、②これから実践してみたいこと、③もっと知りたいことの 3 つを質問し意見交換を行った。参加者 16 名

調査方法：

環境保全ボランティアの講座「森と水辺をつなぐ環境保全ボランティア講座」（全 5 回実施）において、行事登録者 22 名を対象に、行事終了後、下記事項のアンケートを行った。ただしアンケートは行事全 5 回のうち、説明会以外の 4 回で実施した。

- 1) 登録時のデータを用いて性別及び年齢
- 2) 満足度を 4 段階に分けて評価及びその理由。
(本日の講座の満足度は? 満足・どちらかといえば満足・どちらかといえば不満・不満)
- 3) 環境調査・環境管理・環境教育の 3 つの連携の理解度を 4 段階に分けて評価及びその理由。
(本講座で「環境調査」「環境管理」「環境教育」の連携を、理解できた・どちらかといえば理解できた・どちらかといえば理解できなかった・理解できなかった)

調査結果：

回収したアンケート数は 64 枚（環境調査編 17 枚、環境管理編 17 枚、環境教育編 15 枚、まとめの会 15 枚）であった。

- 1) 参加者の属性
男性 15 名、女性 7 名で、年齢内訳としては 10 代 1 名、20 代 3 名、30 代 1 名、40 代 3 名、50 代 5 名、60 代 5 名、70 代 4 名となった。(図 1)
- 2) 講座の全体での満足度
「満足」32 名、「どちらかといえば満足」30 名、「どちらかといえば不満」2 名、「不満」は 0 名であった。(図 2) 各回ごとの参加者の満足度と

しては、「満足」と「どちらかといえば満足」と答えた方を合わせると、全体の約90%以上が「満足」または「どちらかといえば満足」と答えていた。

3) 環境調査・環境管理・環境教育の連携について講座全体の理解度

「理解できた」24名、「まあまあ理解できた」38名、「どちらかといえば理解できなかった」2名、「理解できなかった」は0名であった。(図3) 各回ごとの理解度としては、90%以上は「理解できた」または「どちらかといえば理解できた」と答えていた。

考察：

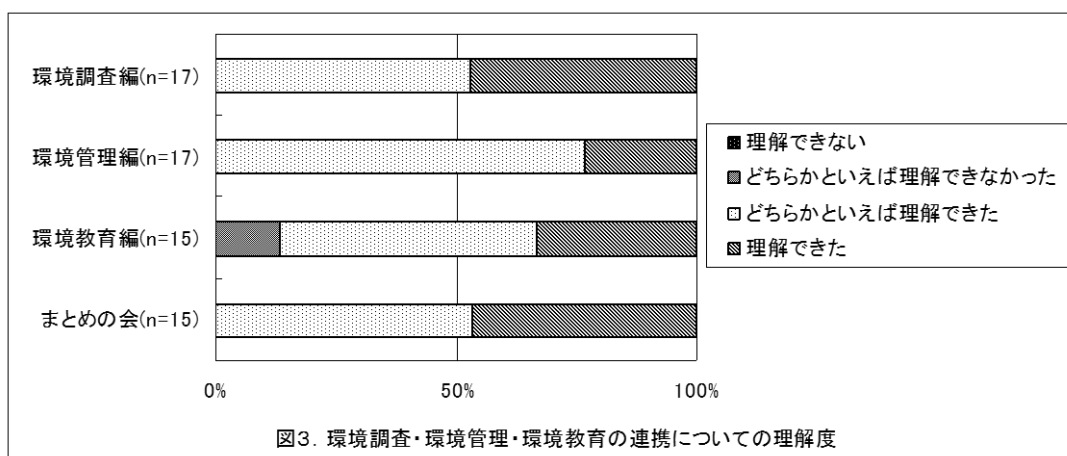
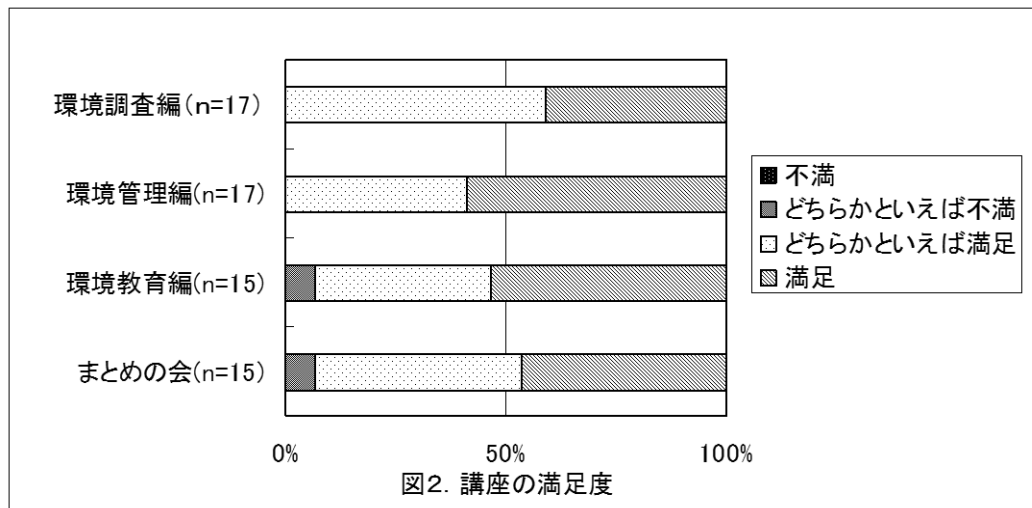
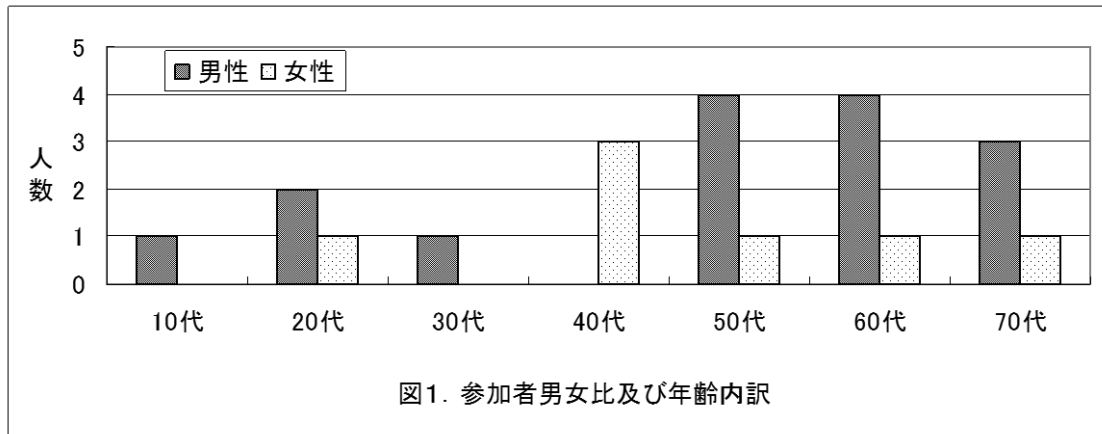
講座の満足度（「満足」・「どちらかといえば満足」の合計）としては各回90%を超え、高いことがわかった。満足度が高い理由としては「野外活動の楽しさ」「保護活動に参加できたこと」「成果物ができたこと」などの参加者の声があった。室内での講義だけでなく参加者が実際に体験できることや、目に見える形で成果として残る内容が満足度を高くしていると思われた。

環境教育編とまとめの会で「どちらかといえば不満」という回答があった。その理由として、環境教育編では「絵巻物作成、発表の準備としてもう少し時間がほしかった」という声があった。まとめの会では「実践的なことがなかった」という声があった。これらの意見から、より体験活動に重きを置いたプログラムを考えていく必要があると考えられた。

環境調査、環境管理、環境教育の連携については、最後のまとめの会では全員が「理解した」または「どちらかといえば理解した」と答えていた。これは、各回ごとに参加者が実際に環境調査、環境管理、環境教育のそれぞれを体験したことが理由として考えられた。

環境教育編で「どちらかといえば理解できなかった」という回答があった。その理由として「環境管理の所で調査後の確認の手法を実感していないため教育にどうつながっていくのか興味を持った」という意見があった。今回の講座の場合、環境調査編では、水辺の調査と展示の作成。環境管理編では、希少植物の調査と選択的草刈。環境教育編では、観察の森の過去のいきものの調査データを利用して絵巻物の作成を行った。各回の講義の際にレクチャーで「環境調査」「環境管理」「環境教育」の3つの連携の事例を説明しているが、1回の講座では調査・管理・教育の3つの組み合わせで実施していないため、同じテーマで3つの連携を体験できるプログラムがあると、理解度が高まると思われる。

た。



展示効果測定調査 ～外来種に対する理解度～			
柴田 英美 ((財)日本野鳥の会 サンクチュアリ室)			
調査場所	自然観察センター		
調査日	2008年3月18日～30日		
調査開始	2007年度	次年度 継続	終了予定 2009年度
調査目的			
<p>外来種に関する展示を通して、何割の来館者が「外来種」について理解しているのかを明らかにする。</p>			
調査方法			
<p>横浜自然観察の森では「いきもののにぎわいのある森づくり」を行っている。「いきもののにぎわいのある森」とは、その地域にもとから生息している多様な生物が、本来のつながりをもって生息するため、様々な環境が保全された森のことである。この取り組みを普及させるための展示を3月より開始した。その第1弾として、外来種についての展示を行っている。本調査では、展示を見学している来館者にアンケート記入を依頼した。展示とアンケートの内容は以下の通りである。</p>			
1) 展示「いきもののにぎわいのある森 どんな森？」(写真1)			
<p>展示は3つの部分から構成されており、以下の①、②、③の順に来館者に見学してもらう形式となっている。</p>			
① 『どこがちがう？』(写真2)：横浜自然観察の森に生息・生育している生きものの写真や剥製を、在来種と外来種に分けて展示し、2つの違いについて考えてもらう。			
② 『どこから、どのようにやってきた？』(写真3)：外来種の原因と侵入経路について書かれたパネルを見て、『どこがちがう？』で展示されている生きもののうち、どの生きものかを考えてもらう。			
③ 『なにがおこる？』(写真4)：外来種が生態系に与える影響(捕食・競合・交雑・感染)をイラストと言葉で展示する。最後に、横浜自然観			

察の森が在来種で構成された森を目指していることを伝える。



写真1：全体



写真2：『どこがちがう?』



写真3：

『どこから、どのようにやってきた?』



写真4：

『なにごちがう?』

2) アンケート内容

アンケートは中学生以上を対象として、2008年3月18日～30日に実施した。アンケートでは、以下の項目について回答していただいた。

- ① 回答者属性：性別、年代、来園回数
- ② 外来種に対する理解度（4段階評価）：展示見学前と見学後で、「外来種と在来種の違い」と「外来種が生態系に与える影響」に対する理解度について尋ねた。
- ③ 展示を見て分かったこと、感じたこと（記述式）

調査結果

1) 回答者属性（図1、2）

回答者の性別は、女性32名、男性18名であった。年代は、40代、50代、60代が多かった。来園回数は、「初めて」が30%(15名)、「2～4回」26%(13名)、「5回以上」44%(22名)であった。

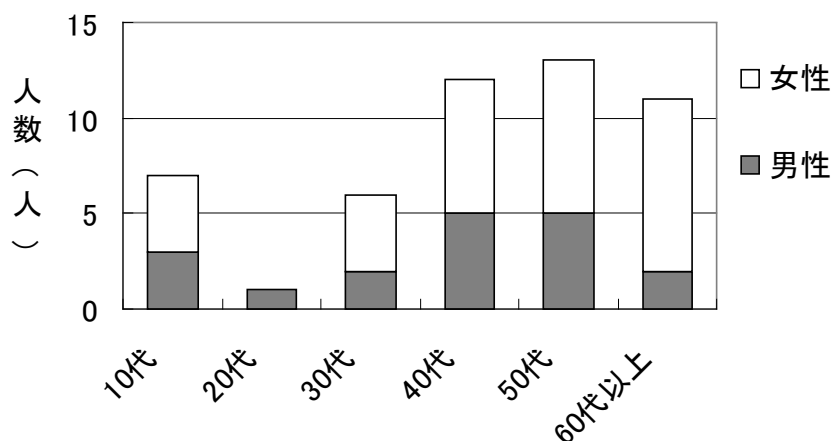


図1：回答者の性別・年代

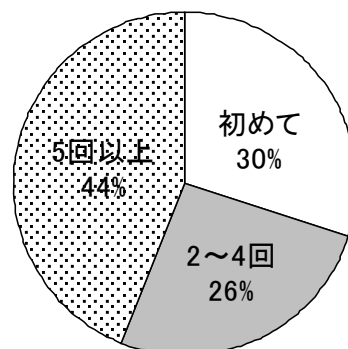


図2：来園回数

2) 外来種に対する理解度

① 外来種と在来種の違いに対する理解度 (図3)

展示見学前は、違いについて知っていたのは40%だった(「知っていた」8%、「どちらかといえば知っていた」32%の合計)。展示見学後には、回答者の98%が(「理解できた」62%、「どちらかといえば理解できた」36%の合計)違いについて理解できたと回答していた。

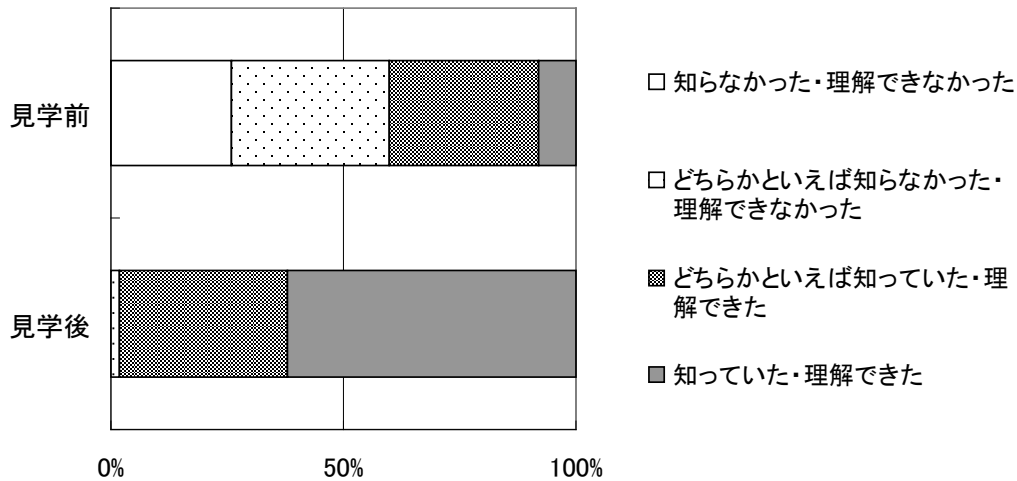


図3: 外来種と在来種の違いに対する理解度

② 外来種が生態系に与える影響に対する理解度 (図4)

展示見学前は、違いについて知っていたのは76%だった(「知っていた」12%、「どちらかといえば知っていた」64%の合計)。展示見学後には、回答者の全員が違いについて理解できたと回答していた(「理解できた」62%、「どちらかといえば理解できた」38%の合計)。

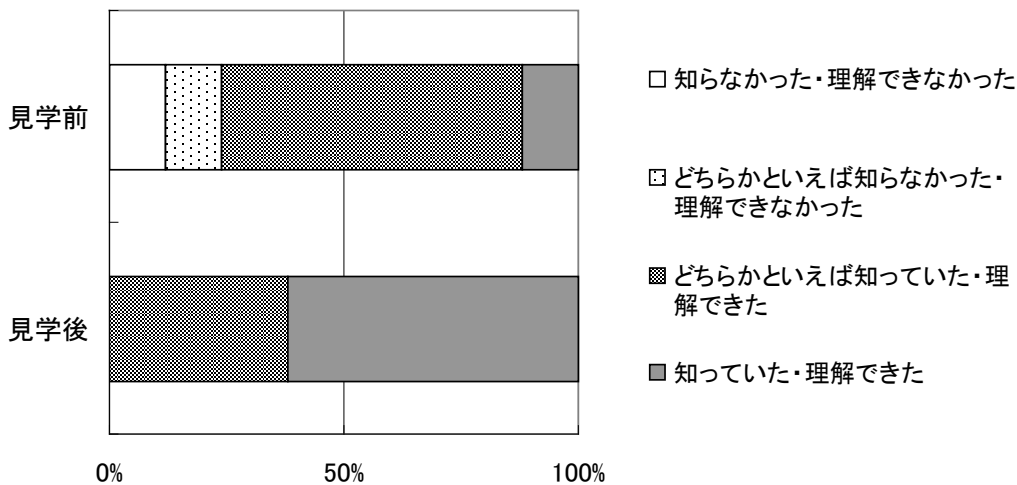


図4: 外来種が生態系に与える影響に対する理解度

3) 展示を見て分かったこと、感じたこと

展示を見て分かったこととしては、「身近な生きもの（アライグマ・コジュケイ・ウシガエルなど）が外来種であることが分かった」、「生きものがたくさんいることがよいと思っていたが、いては困る生きものがあるのだと分かった」などの回答があった。

感じたこととしては、大きく分けて「①自分で外来種問題に対して何かしよう」、「②より多くのことを知りたい」、「③誰かに外来種問題について何かしてほしい」の3種類に分けられた。①としては、積極的に在来種の保護に取り組みたいなどの回答があった。②としては、外来種への対応策や在来種の現状について知りたい、雑種が自然界で生息・生育している姿を見たいなど回答があった。③としては、身近な生きものが外来種であることを知らない人が多いのでこの展示を見て自然環境について考えてほしい、人為的な持込についてはもっと法的にコントロールすべき、持込む前に未来を想像して考えることが必要などの回答があった。その他に、展示の改善点のご指摘などの回答もいただいた。

考察

以前より「外来種と在来種の違い」を知っていた（「知っていた」、「どちらかといえば知っていた」の合計）回答者よりも、以前より「外来種が生態系に与える影響」について知っていた回答者が多かった。現在、マスメディアが頻繁に外来種問題について取り上げている。その際に、外来種による被害をテーマに取り上げていることが多いことや、「在来種」という言葉は取り上げられる機会が少ないことが「外来種と在来種の違い」についてよく知らないが、「外来種が生態系に与える影響」は知っているという方が多かった理由として考えられた。

今回の展示は、外来種の基本的な部分について分かりやすく、簡素に伝えることを目的としている。今回のアンケートの結果より、展示を見学することにより、「外来種と在来種の違い」、「外来種が生態系に与える影響」ともにほぼ全員が理解できたと回答しており、外来種に対する理解度が以前より高くなったことが分かった。

今後は、アンケートの結果をもとに、情報をさらに充実させるなどの改善を行う予定である。また、いきものつながりに関する展示など、「いきもののにぎわいのある森」を来館者に理解してもらうための展示も予定している。

横浜自然観察の森 友の会会員動向調査			
尾崎 理恵 ((財)日本野鳥の会 サンクチュアリ室)			
調査場所	横浜自然観察の森		
調査日	2007年3月～2008年3月		
調査開始	1986年	次年度 継続	終了予定 一年
調査目的 施設のボランティアグループ「横浜自然観察の森 友の会」の会員動向を把握し、施設の事業を推進していく上で基礎資料とする。			
調査方法 氏名を削減した会員データを友の会より借用し、そのデータをもとに「会員数の変化」「入会年別会員数」「会員年齢分布」「2006、2007年度会員内訳」の4項目についてデータを分析し、まとめた。			
調査結果・考察			
1) 会員数の変化 (図1) 2007年度の会員数は198名であった。昨年の214名からさらに減少している。			
2) 入会年別会員数 (図2) 過去4年入会者数は20名を超えていたが、2007年度は17名と減少している。			
3) 会員年齢分布 (図3) 60代の会員が最も多く、次いで50代、70代、40代の会員が多い。			
4) 2006・2007年度会員内訳 (図4) 最近2年間の入会会員内訳をみると、60代の会員が多い。2007年度には子供の会員は入会していない。			

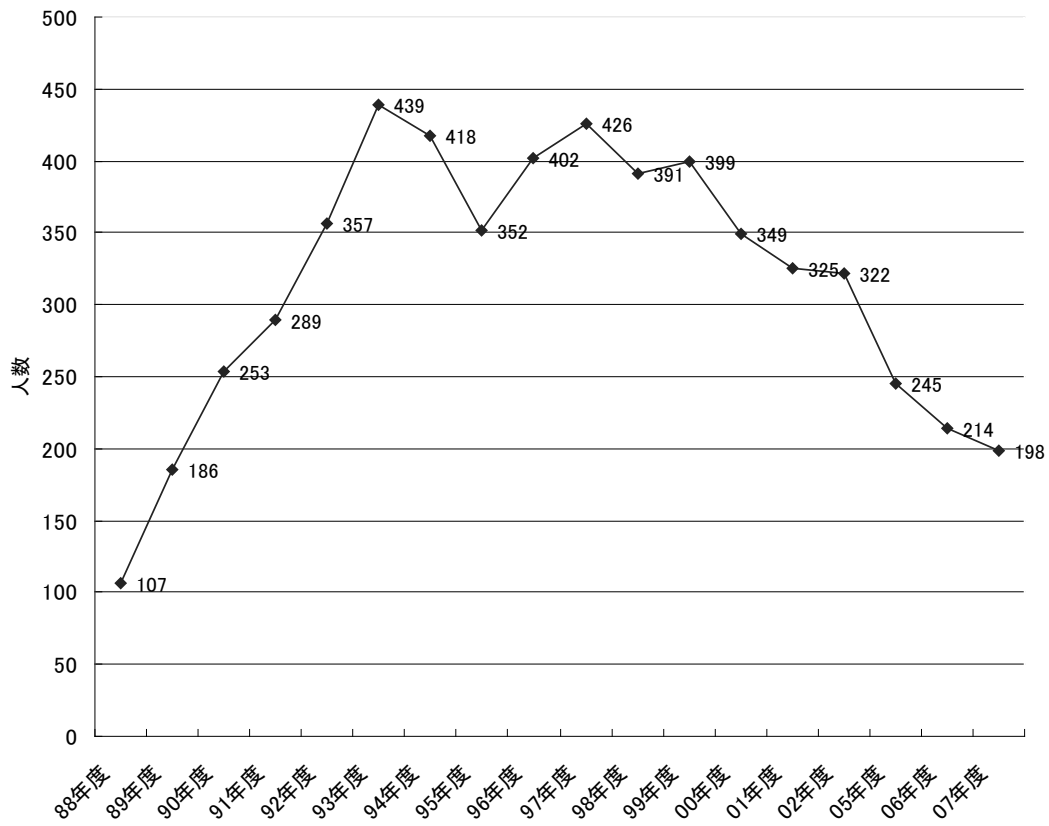


図1. 友の会会員変化

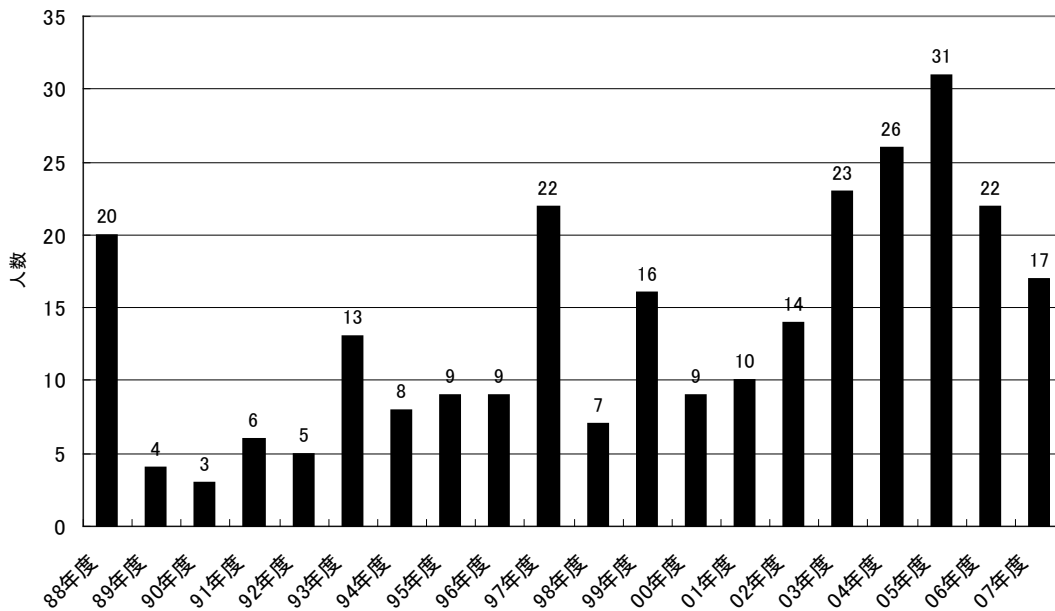


図2. 入会年別会員数

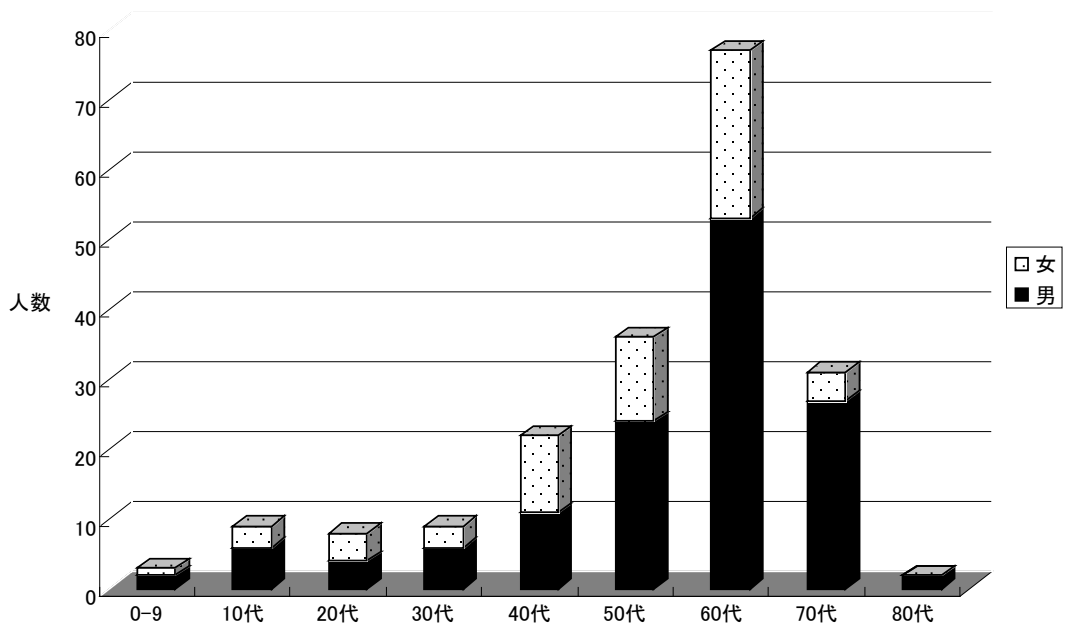


图3 会员年龄分布

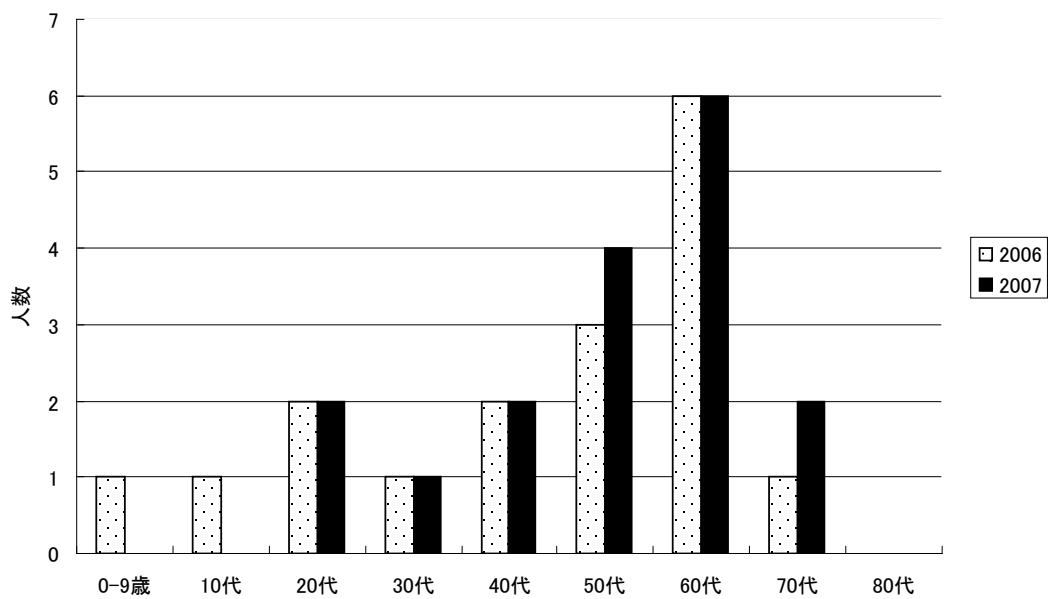


图4 入会会员内訳

2007 年度入館者数			
東 陽一 ((財)日本野鳥の会 サンクチュアリ室) まとめ			
調査場所	自然観察センター		
調査日	2007 年 4 月 1 日～2008 年 3 月 31 日 (年末年始・休館日を除く)		
調査開始	1986 年	次年度	継続
		終了予定	— 年
調査目的			
<p>利用者の動向を把握し、行事、展示、サービスなどをニーズに沿ったものにするための基礎資料として、入館者数をモニタリングする。</p>			
調査方法			
<p>自然観察センターへの入館者数をカウンター内にあるレンジャーが数取機で記録した。主催行事の参加者数はレンジャーが、友の会主催行事の参加者数はボランティアが把握し、記録した。友の会会員の活動人数は、友の会の活動報告日報から読みとったり、または、友の会プロジェクトの担当レンジャーが記録した。また、友の会活動ではなく、施設の事業の補助等を行ったボランティアについては、別途レンジャーが記録した。</p> <p>なお、この調査は、カウンターにいるレンジャーが確認できた範囲での記録である。問合せや電話に対応している時には記録できていない来館者もいる。また、野外のみを利用する来園者の人数の把握もできてはいない。</p>			
調査結果および考察			
<p>総入館者数はのべ 42,220 人、そのうち、一般入館者の合計がのべ 39,824 人 (内訳：個人での利用者が 16,002 人、団体での利用者が 20,884 人、施設の主催行事参加者が 2,210 人、友の会主催行事参加者が 728 人)、ボランティアが合計 2,396 人 (内訳：横浜自然観察の森友の会の活動を行ったのべ 2,286 人、施設の求めに応じて事業の補助等を行った施設ボランティアが 110 人) であった (表 1)。個人利用者は一般入館者の 40.2%、団体利用者は 52.4%、行事参加者は 7.4%であった。</p>			

表 1. 2007 年度自然観察センター入館者数

2007年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年度合計
入館者合計	2,653	6,003	4,627	3,104	2,239	2,972	4,370	4,735	3,100	1,425	1,830	2,766	39,824
内訳													
個人利用者	1,574	1,746	1,404	1,082	1,158	986	1,346	1,673	1,191	1,121	1,024	1,697	16,002
団体利用者	946	3,867	2,628	1,943	504	1,890	2,466	2,958	1,764	221	725	972	20,884
行事参加者	32	383	540	57	501	41	417	79	2	37	81	40	2,210
友の会行事参加者	101	7	55	22	76	55	141	25	143	46	0	57	728
累計													
2007年度累計	2,653	8,656	13,283	16,387	18,626	21,598	25,968	30,703	33,803	35,228	37,058	39,824	39,824
開園累計	779,285	785,288	789,915	793,019	795,258	798,230	802,600	807,335	810,435	811,860	813,690	816,456	816,456
ボランティア合計	293	241	251	153	137	190	181	170	170	177	171	262	2,396
内訳													
友の会ボランティア	293	206	230	141	130	184	173	169	169	172	163	256	2,286
施設ボランティア		35	21	12	7	6	8	1	1	5	8	6	110

入館者が4千人を超えたのは、5月・6月・10月・11月であった。そのうち最も多かったのは5月であった。個人利用者が年間で最も多かったのと、体験学習による学校団体の利用が多かったためと考えられる。10月、11月は個人利用者、団体利用者とも多かったためと考えられる。2007年度は前年度にくらべて利用団体数はやや減少したが、団体人数は増加した。体験学習での学校利用が増えていることとも関係があるだろう。冬期（12～2月）の利用者数は前年度よりも増加した。

横浜自然観察の森では、自然保護ボランティア育成を目的とした行事も行っているため、そのような行事では一度に多人数が参加するのではなく、限られた人数に対して深い教育を行っていくことになる。このような行事に主力を置いた場合には、行事等の工夫で入館者数を増やすことは難しくなる。しかし、公共施設としては、入館者の多い時期に広く市民サービスとなるような行事・展示を行い、また、入館者の少ない時期に市民を呼ぶような工夫も続けていく必要があると思われる。

生物リスト

表1. 鳥類ラインセンサス調査での出現種と月ごとの平均個体数
(2007年4月－2008年3月)

数値は月ごとの平均個体数

種名	4月	5月	6月	10月	1月	2月	3月
1 アオゲラ	1.5	1.0	1.5	1.0			
2 アオジ	2.5				4.0	3.5	3.5
3 アカハラ		0.5			1.0		
4 ウグイス	34.5	32.0	36.0	5.0	2.0	2.0	7.0
5 ウソ	1.0					0.5	0.5
6 エゾビタキ		0.5					
7 エナガ	0.5		0.5	3.5	6.5	10.0	4.0
8 オオルリ	1.0	1.5	0.5				
9 カケス	0.5	1.5					
10 カルガモ	1.5						
11 カワセミ	1.5		1.0	1.0			
12 カワラヒワ	1.5	0.5	2.5	2.0	1.0	4.0	5.0
13 キジバト	0.5	1.5	0.5	1.0	1.0	3.5	4.0
14 キセキレイ		0.5					
15 キビタキ	0.5			1.5			
16 クロジ	1.0				2.0	3.0	1.0
17 クロツグミ	0.5						
18 コゲラ	3.5	1.5	8.0	3.0	1.0	1.5	3.0
19 コジュケイ	8.5	2.5	3.0	3.0	3.0	3.5	3.0
20 シジュウカラ	6.5	8.5	12.0	15.0	8.5	4.0	7.0
21 シメ	2.5			0.5		4.5	3.0
22 ジョウビタキ					0.5		
23 シロハラ					10.5	7.5	
24 スズメ	0.5	7.0	26.0	1.0			2.5
25 センダイムシクイ		1.0	0.5				
26 ツグミ	0.5				1.0		0.5
27 ツバメ	0.5		1.0				
28 トビ	1.0	1.5	0.5	0.5		1.0	0.5
29 トラツグミ	0.5						0.5
30 ハイタカ				0.5			
31 ハシブトガラス	6.0	5.0	5.5	7.5	1.5		3.0
32 ハシボソガラス		2.0	3.0	0.5			
33 ヒメアマツバメ	0.5						
34 ヒヨドリ	21.0	7.0	9.5	65.0	18.0	12.5	4.0
35 フクロウ					0.5		
36 ホオジロ	3.5	1.0	2.0	2.5	5.5	0.5	3.0
37 ホトギス		0.5	1.5				
38 ムクドリ		1.0			1.0		
39 メジロ	28.0	30.0	60.0	51.5	6.5	4.0	5.5
40 モズ				5.0			
41 ヤマガラ	1.5	5.5	2.0	2.5	0.5	1.0	2.5
42 ヤマシギ							0.5
43 ルリビタキ					1.0		
小計	133.0	113.5	177.0	173.0	73.5	67.5	63.5
アオジ?						0.5	
大型ツグミsp.	1.0			0.5			
オオタカ?			0.5				
シメ?						0.5	
クロジ?						1.0	
サンショウクイ?	0.5						
合計	134.5	113.5	177.5	173.5	73.5	68.5	63.5

表2: 月別園内鳥類出現率 (2007年4月~2008年3月)

No	科名	種名	出現率(%)											
			4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1	ウ	カワウ		3.8		3.8			3.8					
2		コサギ							3.8	4.0				
3		アオサギ							3.8				8.0	
4	カモ	オシドリ							7.7		8.7			
5		カルガモ	7.7	11.5	3.7				3.8					
6	タカ	トビ	80.8	80.8	66.7	61.5	81.5	57.7	61.5	56.0	56.5	65.2	88.0	59.3
7		オオタカ		7.7				3.8		4.0		13.0	8.0	3.7
8		ハイタカ	3.8					7.7		8.0			4.0	
9		ノスリ							7.7	4.0	4.3	13.0	28.0	
10		サシバ						19.2	3.8					
11	ハヤブサ	チゴハヤブサ							7.7					
12		チョウゲンボウ								4.0				
13	キジ	キジ	3.8											
14	シギ	ヤマシギ								8.0				
15	ハト	キジバト	61.5	69.2	85.2	46.2	44.4	34.6	61.5	44.0	52.2	43.5	60.0	44.4
16	カッコウ	ツツドリ	3.8	11.5				3.8						
17		ホトトギス		30.8	96.3	73.1	14.8	3.8						
18	フクロウ	フクロウ	7.7									8.7	8.0	3.7
19	アマツバメ	ヒメアマツバメ	3.8	11.5	11.1	3.8		3.8	3.8		13.0		4.0	
20		アマツバメ	3.8						3.8					
21	カワセミ	カワセミ	34.6	23.1	44.4	15.4		3.8	15.4	12.0	8.7			7.4
22	キツツキ	アオゲラ	57.7	69.2	40.7	42.3	22.2	15.4	19.2	8.0	8.7	21.7	16.0	14.8
23		コゲラ	73.1	76.9	55.6	50.0	29.6	34.6	61.5	44.0	39.1	65.2	52.0	51.9
24	ツバメ	ツバメ	15.4	38.5	63.0	73.1	44.4	11.5	7.7					3.7
25	セキレイ	キセキレイ	11.5	15.4	11.1				7.7	8.0	8.7	4.3	8.0	3.7
26		ハクセキレイ		3.8		7.7			3.8	8.0	26.1	17.4	20.0	11.1
27	ヒヨドリ	ヒヨドリ	80.8	76.9	66.7	38.5	25.9	38.5	76.9	72.0	65.2	73.9	84.0	66.7
28	モズ	モズ	3.8	3.8				15.4	73.1	32.0	26.1	26.1	40.0	14.8
29	ツグミ	ルリビタキ									30.4	30.4	32.0	
30		ジョウビタキ							15.4	20.0	4.3	8.7	12.0	3.7
31		トラツグミ	3.8						3.8	4.0	4.3	17.4	8.0	3.7
32		マミジロ	7.7											
33		アカハラ		3.8						12.0	8.7	39.1	48.0	11.1
34		シロハラ	11.5						3.8	8.0	21.7	82.6	92.0	37.0
35		ツグミ	57.7							8.0	17.4	43.5	48.0	33.3
36	ウグイス	ヤブサメ	19.2	53.8	44.4	11.5								
37		ウグイス	96.2	92.3	92.6	96.2	59.3	19.2	46.2	48.0	56.5	52.2	52.0	66.7
38		メボソムシクイ		3.8										
39		エゾムシクイ		3.8										
40		センダイムシクイ	7.7	34.6	11.1									
41		キクイタダキ										4.3	4.0	
42	ヒタキ	キビタキ		7.7	3.7				26.9	8.0				
43		オオルリ	34.6	53.8	44.4	26.9	14.8		3.8					
44		サメビタキ							3.8					
45		エゾビタキ						7.7	7.7					
46		コサメビタキ							3.8					
47	エナガ	エナガ	11.5	53.8	33.3	7.7		3.8	34.6	24.0	13.0	65.2	56.0	37.0
48	シジュウカラ	ヤマガラ	53.8	57.7	29.6	11.5			38.5	28.0	21.7	8.7	20.0	18.5
49		シジュウカラ	96.2	92.3	88.9	73.1	51.9	61.5	80.8	68.0	52.2	56.5	80.0	63.0
50	メジロ	メジロ	92.3	92.3	92.6	80.8	81.5	50.0	73.1	60.0	56.5	69.6	68.0	66.7
51	ホオジロ	ホオジロ	80.8	61.5	59.3	61.5	7.4	3.8	42.3	44.0	52.2	56.5	64.0	55.6
52		アオジ	46.2							36.0	47.8	56.5	84.0	33.3
53		クロジ	15.4							20.0	4.3	26.1	28.0	3.7
54	アトリ	アトリ								4.0				
55		カワラヒワ	11.5	19.2	59.3	34.6			11.5	12.0		17.4	32.0	3.7
56		マヒワ								4.0				

No	科名	種名	出現率(%)												
			4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
57		ウソ	26.9								12.0			24.0	7.4
58		イカル												16.0	
59		シメ	23.1							3.8	24.0	17.4	52.2	60.0	18.5
60	ハタオリドリ	スズメ	84.6	84.6	88.9	88.5	88.9	30.8	34.6	28.0	65.2	60.9	84.0	51.9	
61	ムクドリ	コムクドリ							3.8						
62		ムクドリ	11.5	42.3	14.8	11.5			3.8	4.0			4.0	7.4	
63	カラス	カケス	50.0	3.8											
64		オナガ				7.7								4.0	
65		ハシボソガラス	50.0	80.8	37.0	34.6	11.1	3.8	15.4	20.0	8.7	13.0	40.0	18.5	
66		ハシブトガラス	80.8	76.9	66.7	76.9	92.6	69.2	76.9	68.0	65.2	73.9	88.0	51.9	
67	* キジ	コジュケイ	92.3	92.3	92.6	88.5	63.0	42.3	61.5	64.0	60.9	60.9	80.0	55.6	
68	* ハト	ドバト		7.7											
	タカ	オオタカ?			3.7										
	ホトギス	ツツドリ?								4.0					
	ツグミ	マミチャジナイ?								4.0					
	ツグミ	大型ツグミ sp.	11.5	3.8							13.0				
	ウグイス	ヤブサメ?											4.3		
	ヒタキ	ヒタキ sp.							3.8						
	ホオジロ	ノジコ?								4.0					
	カラス	カケス?							3.846						

* : 外来種

花暦 ・ 2007年

横浜自然観察の森友の会 野草プロジェクト :

伊澤 嘉與子・杉崎 泰章・高原 弘子・武田 元子・畑 史子・八田 文子、山口 英臣
山路 智恵子・横溝 八千代・篠原 由紀子 (まとめ)

〈調査方法〉

毎月1日から10日の間に花暦調査日を設け、園内を歩いて植物の状況を記録した。
野草プロジェクトの定例活動日、その他の日に園内で記録したものも追加した。

〈凡例〉

つぼみ :△
花 :★
未熟な実 :○
熟した実 :●
むかご :む

△	△★	△ ○	★○●	△26
★	△★○	△ ●	△/★12	★22
○	△★○●	△ ○●	△16★22	△★20
●	○●	★○	△★16○22	△★○20

- ・ /の後は定例調査の日以外の記録

例 1. 一定例調査の日には蕾だったが12日には開花を記録した : △/★12

例 2. 一定例調査の日には記録されなかったが、26日にはつぼみを記録した : △26

- ・ 園内で観察できる場所が限られている植物は、種名の右()内に場所を記した

ア : アカネの丘, オ : 尾根道, カ : カの森, ク : クヌギの林, ケ : ケゾウの谷, コ : コラの谷
ス : 炭焼き場, セ : 生態園, ノ : ノギクの広場, ハ : 畑, ヒ : ヒクニック広場, ミ : 水鳥の池

- ・ 種名の網掛けは生態園で観察できた種

熟した実

種名	科名	4月4日	5月8日	6月8日	7月10日	8月7日	9月8日	10月6日	11月9日	12月7日	1月8日	2月8日	3月7日
アオカモジグサ	イネ		△	★○●									
アオキ	ミズキ	△★○	○	○	○	○	○	○	○	○●	△○●	△○●	△○●/★30
アオスゲ	カヤツリグサ	△★	○										
アオツツラフジ	ツツラフジ				△★	△★○	△★○	○●	○●	●	●		
アオミズ	イラクサ					△	△	★○●	○●	●			
アカガシ	フナ								○				
アカシデ 植栽	カバノキ	★											△★16
アカシヨウマ	ユキノシタ		△	△★2	○	○	○	○	○	○	●		
アカネ	アカネ						△★23	△★	○●	○●			
アカネスミレ(幼)	スミレ												
アカバナ	アカバナ					△★	△★○	△★○●	●	●			
アカマツ 植栽	マツ	△●	△★	○●	○●	○	○●	○●	○●	○●	●	△	△○/★24
アカメガシフ	トウダイグサ		△24	△/★17	★○	○	○●	●					
アキカラマツ	キンポウゲ			△		△★○		★	○				
アキグミ 植栽も	グミ	△15★30	△★						○				
アキニレ 植栽	ニレ								○				
アキノウナギツカミ 植栽(心)	タデ								★○	○●	●	●	●
アキノエノコログサ	イネ					○●			○●	○●			
アキノキリンソウ(幼)	キク								△★7				
アキノタムラソウ	シク				△★31	△★	★○	△★○●	★○●	★○			
アキノノゲシ	シク							△★	○●				
アキメヒシバ	イネ						△★	○					
アケビ	アケビ	△★											
アジサイ植栽	ユキノシタ		△	△/★26									
アシボン	イネ							△★					
アズマイバラ	バラ	△	△/★20	○	○	○	○	○	●	●	●	●	
アズマネザサ	タケ			○2									
アゼガヤツリ	カヤツリグサ						★	○					
アゼナ(7)	ゴマノハグサ				△★	★○	○●	△★23					
アゼナルコ(幼)	カヤツリグサ		△★	○	○●								
アブラチャン	クスノキ	△★	○24	○	○	○	○	△○●	△	△			△/★24
アマチャヅル	ウリ						△★4	○		●			
アメリカイヌホオズキ	ナス									△★○●			
アメリカスミレサイシン	スミレ	△★											
アメリカセンダングサ	キク							△★○●	△★○●	●		●	●
アメリカカタカサブロウ	キク						△★○●	△★○●					
アメリカフウロ	フウロソウ		△★	★○●									
アラカシ	ブナ					○	○	○	○				
アレチギンギシ	タデ		△19	△★○●	○	○●							
アレチノチャヒキ?	イネ			△★28	○	○●	○●						

褐色
赤
青
黒
薄茶
黒茶
赤茶
茶
茶
黒
薄茶
紫
赤
茶
茶
薄茶

熟した実

緑 (種褐)

茶

黒

赤

茶

茶

黒

黒

茶

黒

黒

茶

赤

薄茶

黒

褐

赤

赤

種名	科名	4月4日	5月8日	6月8日	7月10日	8月7日	9月8日	10月6日	11月9日	12月7日	1月8日	2月8日	3月7日
アンズ 植栽 (N)	バラ	★○		○									△★23
イ	イグサ		△★19	★○	○●	○●							
イガホオズキ	ナス			△	★	○	△★○	○	○●		●		
イタドリ	タデ					△★		○	○●				
イチゴ栽培種 (N)	バラ	△★											
イチゴツナギ	イネ		△★	○●									
イチヤクソウ (N)	イチヤクソウ	△24	△	△★			○		●				●
イチリンソウ 植栽? (Y)	キンポウゲ	△★											
イヌガラシ	アブラナ	△	△★○	△★○	△★○		△★	★○	★○●	●			
イヌコウジュ	シソ												
イヌコハコベ	ナデシコ	△★○●	○●		○●								
イヌコリヤナギ 植栽	ヤナギ												△★
イヌザクラ	バラ	△15★22	△★	○	○●	●							
イヌシデ 植栽も	カバノキ	★		○	○	○	○	○	●		●		
イヌシヨウマ	キンポウゲ					△	△	△★	○				
イヌセンブリ (Y)	リンドウ						△	△★2	●	●	●	●	●
イヌタデ	タデ						△★	△★○●	●	●	●	●	●
イヌツゲ 植栽も	モチノキ		△/★24	△★	○	○	○	○	△★○●	●	●		
イヌトウバナ	シソ					△★	△★○	★○	○	○	○●		
イヌビエ	イネ					△★○	△★○	○●	○●				
イヌビワ	クワ			△	△	△	○●	○●	○●			○	
イヌホオズキ	ナス		△★										
イヌムギ	イネ	△30	△	○		○●							
イホタノキ	モクセイ	△15	△/★19	○	○	○	○	○	○●		●		
イロハモミジ 植栽も	カエデ	△★	○	○	○	○	○	○●					△24
ウグイスカグラ	スイカズラ	△★○		●								△	△★
ウシノシツペイ	イネ				△★	★○	○	○●					
ウシハコベ	ナデシコ		△★○	★○●	△★○●	△★○●		△★○●	△★○●	△★○●	○		
ウスゲチヨウジタデ (Y)	アカバナ						△★	○					
ウツギ	ユキノシタ	△●22	△●/★19	★○●	○	○	○	○	○	○	●	●	●
ウツボグサ	シソ			△★17									
ウド	ウコギ												
ウバユリ	ユリ			△	△/★28	○	○	△★○/●28	●		●		
ウマノミツバ	セリ		△/★24	△★	△★	★○	○	○	○●	○	●		
ウメ 植栽	バラ											△	△★
ウラジロチコグサ	サトイモ		○	○	○	○							
ウワバミソウ (Y)	キク	△★			●	●							
ウワミズザクラ	イラクサ	△/★22	△★	★				●	●				△24
ウンリウヤナギ 植栽 (N)	ヤナギ	○	○	○									△★23

熟した実

種名	科名	4月4日	5月8日	6月8日	7月10日	8月7日	9月8日	10月6日	11月9日	12月7日	1月8日	2月8日	3月7日
エゴノキ	エゴノキ		△/★24	○	○	○	○						
エゾノギンギシ	タデ		△★○	△★○									
エノキ	ニレ	△★	○	○	○	○	○●	○●	○●	●			
エノキグサ	トウダイグサ						△★	★○	○●	●			
エノクログサ	イネ						○●	●					
エビヅル	ブドウ			△★	△★	△★○●	○●	○●	●				
エビネ	ラン	△●/★22	△★2	○	○	○	○	○	○	○	●		
エンコウカエデ(傍物?)	カエデ	△★22	○	○	○	○	○	○	○		●		
エンジュ	マメ				△/★29	△★	○	○	○		●		△★30
オオアレイトウ	アブラナ				△★○●29		△	●	○				
オオアレチノギク	キク				△★○●29	△★30	△★	△★○●					
オオイヌタデ	タデ						△★	△★○●				★	★○
オオイヌノフグリ	ゴマノハグサ	★○●	△★○●	★○							●		
オオオナモミ	キク												
オオジシバリ	キク	△★	△★○										
オオシマザクラ	バラ	△★	○●	○●									△★25
オオシメノカタビラ	イネ	△★22	△★	●									
オオニシキソウ	トウダイグサ					△★	△★○	○	●				
オオバイボタ	モクセイ	△15	△★27	△★		○	○	○	○	●	●		
オオバウマノスズクサ	ウマノスズクサ	△★15	△★										
オオバコ	オオバコ		△★○	★○	△★○●	△★○●	△★○	△★○●	○●	●		●	
オオバヤノヒゲ	ユリ			△/★28	○								
オオバヤシヤブシ	植栽	○●	○●	○●			△	○●	△	△	△	△	△●/★23
オオムラサキ	植栽	△★	△★○										
オオムラサキシキブ	クマツヅラ					○		○					
オオヤマザクラ	植栽	△★		●									
オカタツナミソウ	シソ		△★	★○	○	●	●	○●	○●	●	●		
オカトラノオ	サクランウ			△/★17	△★○	○	○		○●	○●	●	●	
オギ	イネ							△★	○		●		
オケラ	キク						△		○				
オッタチカタハミ(シ)	カタハミ							△★○					
オトコエシ	オミナエシ					△★	△★○	★○			●		
オトコモギ	キク						△	△				●	
オニウシノケグサ	イネ	△30	△/★19	★○									
オニグルミ	クルミ		○	○						△	△	△★	△★
オニシバリ	ジンチョウゲ	○	○	●	●								
オニタビラコ	キク	△★	△★○●	△★○●									
オニドコロ	ヤマノイモ				△★	△★○	★○	○	○●	●	●	●	●
オヒシバ	イネ							△★○●	●				
オヘビイチゴ(ク)	バラ		△★	★○									

褐色
緑
紫
薄茶
緑→黄
薄茶
赤
赤
薄茶
青
褐
紫
赤
茶
茶
茶
茶
茶
茶
赤
茶
薄茶
茶

熟した実

種名	科名	4月4日	5月8日	6月8日	7月10日	8月7日	9月8日	10月6日	11月9日	12月7日	1月8日	2月8日	3月7日
オヤブヅラミ	セリ	△15★30	△★○	○●	●								
オランダガラシ	アブラナ	△★15	△★○	★									
オランダミミナグサ	ナデシコ	△★○●	○●	●									
カエデドコロ	ヤマノイモ						△★	○	○	○	●		
ガガイモ	ガガイモ					△★							
カキドオシ	シソ	△★○●	△★	△			△	△★○●	○				●
カシワバハグマ	キク												
カスマグサ	マメ		△★○										
カスミザクラ 植栽	バラ	△★8	○	●			△★	○	○●	●			
カゼクサ	イネ						△★						
カタクリ (2004持ち帰り)	ユリ	○											△★25
カタバミ	カタバミ	△/★15	△★	△★○	△★○	★○	★	★	★				
カタバヤブマオ	イラクサ				△★29								
カレンソウ(ウ)	イラクサ	★○											△★24
カナビキソウ(ノ)	ビヤクダン	△★		△★○●	△★○●	△★○●		○	○				
カナムグサ	アサ					△	△★	★○	○●		●		
カニツリグサ	イネ		△★	●									
ガマズミ	スイカズラ	△15	△/★20	○	○	○	★○●	●	●	●	●		
ガマツカ	バラ	△/★30	△★○	○	○	○	○	○	●	●	●		
カモガヤ	イネ		△/★24	○									
カモヅグサ	イネ		△★20	★									
カラスウリ	ウリ			△	△★	△★	△★	●28	●	●	●	●	●
カラスザンショウ	ミカン		△27			★○	○	○	●	●	●	●	●
カラタチ 植栽	ミカン	△★8	★				○	○	●	●	●	●	●
カラタチバナ(ウ)	ヤブコウジ								●	●	●	●	●
カラムシ (クサマオ)	イラクサ						△★	○	○●	●	●	●	●
カワラスガナ	カヤツリグサ						△★	★	●	●	●	●	●
カワラスゲ	カヤツリグサ			●					●	●	●	●	●
カワラヨモギ(ノ)	キク						△	○●	○●	●	●	●	●
カンガレイ 植栽	カヤツリグサ			△/★17	△★○	△★○	△★○●	○●	●	●	●	●	●
カンツバキ 植栽	ツバキ										△★		
カントウカンアオイ	ウマノスズクサ								★				
カントウタンポポ	キク	△★	△★○●										
カントウマムシグサ	サトイモ		△	○									
キクバドコロ	ヤマノイモ			○									
ギンギン	タデ		△/○19		★○								
キンヨウブ	アヤメ		△★24										
キダチコンギク	キク							△★					
キツタ	ウコギ	●	●			△	△		△★	○	○	○	●
キツネノカミソリ 植栽(ウ)	ヒガンバナ					△★							

薄茶 薄茶 赤 赤 クリーム 茶 赤 赤 赤 黒 橙 赤 褐 褐 赤 黒

熟した実

種名	科名	4月4日	5月8日	6月8日	7月10日	8月7日	9月8日	10月6日	11月9日	12月7日	1月8日	2月8日	3月7日
キツネノボタン	キンポウゲ			△★○	★○●	○●							
キツネノマゴ	キツネノマゴ				△★	△★	★○	△★○●	★○				
キハギ	マメ			△★17	△★○	△★	△★○	△★○	○				
キハガク(キンポウゲ科)	キク				△★	△★	△★	○	★○●		●		
キバナコスモス	キク							△★28					
キブシ	キブシ	△★	○	○	○	△○	△○	△○	△○●	△○	△	△	△/★11
キュウリグサ	ムラサキ	△★○	△★○										△★30
ギョウギンバ	イネ			△★	★○	○							
キラソウ	シソ	△★○	★○	★○●									△★30
キンエノコロ	イネ						△★23	○●	○●				
キンカン 植栽(ハ)	ミカン	●						○	○		●		
キンミズヒキ	バラ				△★29	△★○	△★○	△★○	★○●	○●	●		
ギンミズヒキ	タデ						△★○	○					
キンモクセイ 植栽	モクセイ							△★					
キンラン	ラン		△★2										
ギンラン	ラン	△★30	△★	○	○	○							
クサイ	イダサ		△/★27	★○	○●	○●	○●	○●					
クサイチゴ	バラ	△★○	★○●			△★	○	●					
クサギ	クマツヅラ												
クサボタン	キンポウゲ							△★	○				
クサヨシ	イネ		△★24	○									
クサレタマ 植栽(ハ)	サクラソウ			△★28	△★	★○	○	●	●	●	●	●	●
クズ	マメ				△★29	△★	△★	○	○●	○●	●	●	●
クスノキ 植栽	クスノキ	△	△/★20	○	○	○	○	○	○●	○			
クスギ 植栽も	フナ	★			○	○	○	○	○●	○			
クマシヂ	カバノキ	★											
クマノミズギ	ミズギ		△	△★	○	○	○●	●					
クマヤナギ	クロウメモドキ	○	○	△★●	★○	○	○	○	○	○	○	○	○
クララ	マメ		△/★24	△★	○	○●	●	●					
クリ 植栽も	フナ		△★27	△★	○	○	○						
クレマチス園芸種	キンポウゲ				★								★
クロツカス 植栽(セ)	アヤメ												★○●
クロマツ 植栽も	マツ	△★●	★●	○	○	○	○	○	○●	○●	●	△	★○●
クロモジ	クスノキ	△★	○	○	○	△	△	△	△	△	△		△/★30
クロヤツシロラン	ラン								○●	○●			
クワクサ	クワ							★○	○				
ケイワタバコ	イワタバコ			△★	○	○	○						
ケキツネノボタン	キンポウゲ	△★	△★○										
ケサゲ	カヤツリグサ	△★	○										△★23
ケチヂミザサ	イネ						△★	○	●		●		

褐

茶

黄茶

褐

紺

黒に金色

黒赤褐

茶緑

熟した実

種名	科名	4月4日	5月8日	6月8日	7月10日	8月7日	9月8日	10月6日	11月9日	12月7日	1月8日	2月8日	3月7日
ケナシチガヤ	イネ	△★15	●	●									
ケマルバスマシレ	スマシレ	△★											△★24
ケムラサキニガナ	キク			△	△★	★○●							
ケヤマハシノキ 植栽	カバノキ	○●	○●	○	○	○	△○	△●	△●	△●	△●	△★●	★○●
ゲンノシヨウコ	フウロソウ						△★○	△★○	★○●	●			
ケンボナシ	クロウメモドキ							●					
コアカン	イラクサ				△★29	△★	○	○	○	○●	●	●	
コイチゴツナギ	イネ		△★24										
コウガイゼキシヨウ	イグサ		△★	○●	○●								
コウゾリナ	キク	△★	△★○	△★○●	★○●			△	★○	★○	★○		
コウヤボウキ	キク						△	★○●					●
コガマ 植栽も	ガマ				△★	○	○	○	○●	○●	●	●	●
コクサギ	ミカン	△★	○	○	○	○	○	○	○	○	○●	●	●/△★30
コ克蘭	ラン			△/★28	○	○							
ココメウツギ	バラ	△	△★	○	○	○	○	○	○●	○●	●		
コシオガマ	ゴマノハグサ							△★○	○●	○●			
コスミレ	スミレ		○					○●21					△★23
コセンダングサ	キク	●/△★15	△★					△★○	△★○●	△★○●	△★○●	★○●	●
コチヂミザサ	イネ						△★	△★					
コナスビ	サクランウ	△		△★○	○	★	○	○	○				
コナラ 植栽も	ブナ	△/★15			○	○	○	○					
コニシキソウ	トウダイグサ					△★							
コハコベ	ナデシコ	△★○●	△★○●	△★○●									
コバノガマズミ	スイカズラ	△/★24	△★○				○				○		△★
コバノカモメヅル	ガガイモ			△									
コバノタツナミ	シソ	△★24	△★○	○●			●						
コハンソウ	イネ		△★										
コヒルガオ	ヒルガオ			△★	△★○	△★							
コブシ 植栽も	モクレン	★○		△★	○		△○●	△●	△	△		△	△/★24
コブナグサ	イネ							△★	●	●			
コマツナギ	マメ				△★	△★			○				
コマツヨイグサ	アカバナ		△★27	△★○	△★	★○	★		★○				
コマユミ 植栽	ニシキギ		△★	○	○	○	○	○●	●				
コマツブツメクサ	マメ		△★		△★○●								
コメナモミ	キク							△★	●				
コモチマンネングサ	ペンケイソウ			△★									
ゴンズイ	ミツバウツギ			○28				●21					
サイハイラン	ラン	●/△15	△/★20	★○	○	○	○	○	○	○		●	
ササガヤ	イネ						△	△★	○●	○●			
サジガクビソウ	キク						★○●	●					

薄茶

黒

薄茶

薄茶

薄茶

薄茶

褐

茶

朱赤

褐

黒

褐色

熟した実

種名	科名	4月4日	5月8日	6月8日	7月10日	8月7日	9月8日	10月6日	11月9日	12月7日	1月8日	2月8日	3月7日
サツキ 植栽	ツツジ	★		★									
サトザクラ 植栽	バラ	△★				△★				●			
サネカズラ	マツブサ							△★	○●				
サヤヌカグサ	イネ						△	△/★30	○	○			
サラシナシヨウマ	キンポウゲ										●		
サルトリイバラ	ユリ	△★/○22	○	○	○	○	○	○	○				
サルナシ	マタタビ		△★24	★	○	○	○	○	○/●28				
サワラ	ヒノキ	○●	○●	●	●	●	●	●	●	●	●	△	△
サンカクイ 植栽	カヤツリグサ			△	★○	★○	○●		●	●			
サンカクヅル	ブドウ		△2★27	△★	○	○	○●			●			
サンゴジュ 植栽(ハ)	スイカズラ	△	△	△/★17	○	○	●						
サンシヨウ	ミカン	△★24											
シナダレスズメガヤ	イネ		△27						○				
シバ	イネ		△/★19	○									
シバヤナギ	ヤナギ	○											△★24
シマスズメノヒエ	イネ	△★○			△★○●	△★○●	★○	○●	★○●				
シャガ 植栽	アヤメ	△★○	△★○										
ジャケツイバラ	マメ		△★										
ジャノヒゲ	ユリ			△★28	△★	★	○	○	○	●			
ジャリンバイ 植栽	バラ	△15★22	△★	○	○	○	○	★○	○●	●			
シュウブソウ	キク						★○●	★○●	●				
ジュズスゲ	カヤツリグサ		△★	○●									
シュロ	ヤシ		△24			○			●				
シュンラン 植栽も	ラン												△/★24
シラカシ 植栽も	フナ		△/★27	○	○	○	○	○	○	○●	●		
シラギ 植栽も?	トウダイグサ	△	△	○28	○	○	○						
シラゲガヤ	イネ		△★27		○								
シラスゲ	カヤツリグサ		★										
シラヤマギク	キク		△★	★○			△★	△★	★○		●		
シラン	ラン	△15	△★		○				●				
シロザ	アカザ							△★					
シロダモ	クスノキ	△	△	△	△	△	△	△	△	○	○		
シロツメクサ 植栽も	マメ	△★○●	△★	△★○●	△★○●	△★○●	△★		★				△★除去
シロバナタンポポ 植栽も	キク												
シロバナハコネウツギ	スイカズラ	△★	△★	○					○				●/△30
シロバナシヨウウツル	キンポウゲ	△★	★○	○		△★	△★	△★	★	★	○●	●	●
シロヨメナ	キク		△★										●
スイカズラ	スイカズラ		△★	△★○	○	○	○	○	○●	●	○●	●	●
スイバ	タデ	△★	△★○	●									●
スギ 植栽	スギ	○●	○●	○●	○	○	○	△	△	△	△	△	△★

熟した実

種名	科名	4月4日	5月8日	6月8日	7月10日	8月7日	9月8日	10月6日	11月9日	12月7日	1月8日	2月8日	3月7日
ススキ	イネ						△	△★○	○●	●	●	●	●
スズメウリ	ウリ									●			
スズメノカタビラ	イネ	○	○●	○		△★			△★				
スズメノチャヒキ	イネ		○27	○									
スズメノヒエ	イネ						○●23	●					
スズメノヤリ	イグサ	○●	●	○●									△/★24
スダジイ 植栽も	ブナ	○	△★	○	○	○	○	○●	○●	○	○	○	○
スハマソウ	キンポウゲ											△★21	△★○
セイタカアワダチソウ	キク	●						△★2	△★○	△★○●	★○●	●	●
セイバンモロコシ	イネ								△★				
セイヨウアブラナ	アブラナ	△★15											
セイヨウタンポポ	キク	△★○●	△★○●	★●	★	★○						●	
セキショウ 植栽	サトイモ	△/★15											
セリ	セリ				△★	△★○							
センニンソウ	キンポウゲ				△★29	△★	△★○	○	○●	●	●		
ソメイヨシノ 植栽も	バラ	★	○	●									△★25
タイアザミ	キク		★	△★	△★	△★○●	△★	△★	△★○●	★○●	●	●	●
ダイコンソウ	バラ			△★26	△★○	★○	★○●	★○●	★○●	★○●	●	●	●
ユキノシタ 植栽	ユキノシタ					△	△★○	○	●	●	●	●	●
タシロラン	ラン				△★								
タチイヌノフグリ	ゴマノハグサ	△★	○●	★●									△★30
タチカモジグサ	イネ		△★20	○									
タチカンツバキ 園芸種 植栽	ツバキ		○	○	○	○	○	△★○	△★	△★○	△★○	★○	★○
タチツボスミレ	スミレ	△★	★○	○	○	○			○				△★
タチヤナギ 植栽	ヤナギ	○											△24
タニウツギ 植栽	スイカズラ		△★○●									★	★○
タネツケバナ	アブラナ	△★○●	○●										
タブノキ 植栽も	クスノキ	△★15	△★○	○									
タマアジサイ	ユキノシタ	●			△★	△★	△★○	○	○	○●	○●	●	●
タマガヤツリ	カヤツリグサ						★						
タラノキ	ウコギ					△	△★23	★○	○	○			
チカラシバ	イネ						△★	○	●	●	●		
チダケサシ 植栽	ユキノシタ				△★	○							
チチコグサ	キク			●									
チチコグサモドキ	キク		○●			●							
チドメグサ	セリ		△★19	△★○	★○●	○●							
チャノキ 植栽	ツバキ								△★	△★	★○	○	
ツクバトリカブト	キンポウゲ							△★	★○				
ツクバネウツギ	スイカズラ	△★24		○		○		○	○				
ツツジ 植栽	ツツジ	★	★								★		

薄茶
白

褐
褐

茶

茶

茶

赤

茶

灰茶

黒茶

薄茶

熟した実

種名	科名	4月4日	5月8日	6月8日	7月10日	8月7日	9月8日	10月6日	11月9日	12月7日	1月8日	2月8日	3月7日
ツバキ園芸種 植栽	ツバキ	△★		○	○		△	△	△	△	△★	△★	△★
ツボクサ(カ)	セリ		△				●	○					
ツボスミレ	スミレ	△★	△★			○							
ツボミオオバコ(カ)	オオバコ	△★	△★										
ツメクサ	ナデシコ		★		○●								
ツユクサ	ツユクサ		△★		★○	★○	★○	△★○●	●				
ツリバナ	ニシキギ	△15	△										
ツリフネソウ 植栽も(ゲ)	ツリフネソウ								○				
ツルウメモドキ	ニシキギ		△★		○	○	○	○●	○●	●	●		
ツルカノコソウ	オミナエシ	△★	△★○	●							★○		△★23
ツルグミ	グミ								△★				○
ツルフジバカマ(ヒ)	マメ					△★	△★○	○	●	●			
ツルボ	ユリ					△★	△★○	○	●				
ツルマサキ	ニシキギ												
ツルマメ	マメ						△★	○	●	●	●		
チイカズラ	キョウチクトウ		△/★24	△★		○	○	○	○	○	●		
テリハノイバラ	バラ		△/★27	★○			○		●	●		●	●
テリミノイヌホオズキ	ナス					△★○	△★○●	△★○	△★○●				
ドウダンツツジ 植栽	ツツジ	●/△★15						●	●				
トウネズミモチ 植栽	モクセイ			△	△★	○	○	○	○●	●	●	●	
トウバナ	シソ	△★22	△★	○	★○	△★○●	★○	★○	○				
トキリマメ	マメ				△	△★	○	○	●	●	●	●	●
トキワツクサ	ツユクサ			△★21									
トキワハゼ(7)	ゴマノハグサ				△★○								
ドクウツギ	ドクウツギ	△★	○	○●									△
ドクダミ	ドクダミ		△★27	△★	★○	○							
ドジョウツツナギ	イネ		△★	○●									
トダシバ	イネ				△★	△★○	△	★○	○●	●	●	●	●
トチカガミ 植栽(△)	トチカガミ				△★29		★						
トペラ 植栽	トペラ		△	○	○	○	○	○	○●	●	●		
トホシガラ	イネ	△★30	△★	●									
ナガバハエドクソウ	ハエドクソウ		△	△★	△★○	△★○	△★○	△★○	○●				
ナギナタガヤ	イネ		△★27	○									
ナギリスゲ	カヤツリグサ						△★	○	●	●	●	●	●
ナズナ	アブラナ	△★○●	△★○●										△★
ナルトウダイ	ナルトウダイ	△★○	○										△24★30
ナルコユリ	ユリ		△/★27	★○	○	○	○	●					
ナワシロイチゴ	バラ		△★20	△★	○●								
ナンバンギセル	ハマウツボ						△★	★○	★○●	●			
ニガイチゴ(ヒ)	バラ	★○30	★○				△★	★○					

薄茶

褐

黒(金の)

赤

褐

黒紫

赤

赤

灰色

薄茶

黒

褐

熟した実

種名	科名	4月4日	5月8日	6月8日	7月10日	8月7日	9月8日	10月6日	11月9日	12月7日	1月8日	2月8日	3月7日
ニガキ	ニガキ	△15			△★								
ニガクサ	シソ					○	★○	●					
ニガナ	キク	△24	★○20										
ニシキギ 植栽	ニシキギ	△15★24	△★	○	○	○	○	○●	●				△24★30
ニリンソウ 植栽(ク)	キンポウゲ	△★											
ニワゼキショウ	アヤメ		△★	★○	★○●	●							△
ニワトコ	スイカズラ	△★	○	●			△★○23	△★○					
ヌカキビ	イネ												
ヌカボ	イネ		★○19										
ヌズビトハギ	マメ				△★24	△★	△★○	△★○	○	●	●		
ヌマトラノオ	サクランソウ				△★	★○	○	○	●	●			
ヌルデ	ウルシ				△	△	△★○	○	●	●	●		
ネコハギ	マメ							○	○				
ネジバナ	ラン			△★17	△★○								
ネズミノオ	イネ						△★○●	●	●			●	
ネズミムギ	イネ		△★	△★○	★								
ネズミ毛手 植栽も	モクセイ	△30	△/★27	△★	○	○	○	○	○●	●	●	●	●
ネナシカズラ	ヒルガオ							★/○28	○				
ネムノキ	マメ			△/★26	★○	★○	○	○	●	●	●	●	
ノイバラ	バラ	△	△★	○	○	○	○	○●	●	●	●	●	●
ノガリヤス	イネ							△★	○●				
ノカンゾウ	ユリ			△	△★								△24
ノゲシ	キク	△★	△★○●	△★○●									
ノコンギク	キク							△★	★○	★	●	●	
ノササゲ	マメ							△★	●		●		
ノダケ	セリ							△★	○		●		
ノブドウ	ブドウ								●				
ノミノツヅリ	ナデシコ	△★15	△★○●										△30
ノリウツギ 植栽	ユキノシタ		△★27	△/★26	△★	○							
ハキダメギク	キク		△★27	△★	△★○●	△★○●		△★○●	△★○	★			
ハコネウツギ	スイカズラ		△★	★○●	○●	○	○	○	●	●	●	●	●
ハコベホオズキ(セ)	ナス		△★16		△★	△★○	△★	△★○	△★○●	△★○●			◇23
ハシカグサ	アカネ						★○14						
ハダカホオズキ	ナス					△★	△★○	○●	●	●	●		
ハタザオ(1)	アブラナ		△★	○									
ハツカ(7)	シソ						△★23	△★	○	○			
ハナイカダ	ミズギ	△★15	★○	○	●	●							
ハナイバナ	ムラサキ	△★	★○	★○●									△★○30
ハナウド(ク)	セリ		△★										
ハナタデ	タデ						△★	△★○	○				

橙
赤・黄
茶
褐
茶
茶
赤
紫
白、青、
褐色
薄茶
薄茶
赤
ビツク

熟した実

種名	科名	4月4日	5月8日	6月8日	7月10日	8月7日	9月8日	10月6日	11月9日	12月7日	1月8日	2月8日	3月7日
ハナツクバネウツギ	スイカズラ				△★								
ハナニラ(他)	ユリ	△★					△★						
ハナヤエムグラ	アカネ		△★20										
ハハコグサ	キク		△★20										
ハマヒサカキ 植栽	ツバキ	○	○	○	○	○	○	△	△	△	○	○	○
ハマヤブマオ?	イラクサ				△★				○		●		
ハリエンジュ 植栽	マメ	△	△★						○		●	●	
ハリギリ	ウコギ								○		●	●	
ハルジオン	キク	△★	△★										
ハンショウヅル	キンポウゲ	△15★24	△★	○28									
ハンノキ 植栽	カバノキ	○●	○	○	○	○				△	△	△	★○●
ヒイラギ 植栽	モクセイ									△	△★		
ヒエガエリ	イネ			★○●									
ヒカゲイノコズチ	ヒユ						△★	△★	○	○	○	○	
ヒカゲスゲ	カヤツリグサ	○	○										
ヒコクサ	カヤツリグサ	△★22	★○	●	●	●							
ヒサカキ	ツバキ	○	○	○	○	○	○	●	△	○	○	○	○
ヒトリシズカ	センリョウ	△★	○										
ヒブタノコズチ	ヒユ						△★	○5	○	○	○	○	○
ヒノキ 植栽	ヒノキ	★○●		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
ヒメアシボソ	イネ							△★	○	○	○	○	○
ヒメイヌビエ	イネ					★○	○	○	○	○	○	○	○
ヒメウス	キンポウゲ	★○											△★
ヒメオドリコソウ	シソ	△★○●	△★○●										★○
ヒメガマ 植栽	ガマ			△★28	○	○	○				△★		
ヒメガンクビソウ	キク					△★							
ヒメカンズゲ	カヤツリグサ	○											△/★23
ヒメクグ	カヤツリグサ							○					
ヒメコウゾ	クワ	△15★22	△★	○●	●								
ヒメコバンソウ	イネ		△	○●									
ヒメジョオン	キク		△24★27	△★	△★○●	△★○●	★	△★					
ヒメムカシヨモギ	キク						△★○●	△★○●	○●				
ヒメモロコシ)	イネ				△★29	△★	△★	○	★○		○		
ヒメヤブラン	ユリ			△	△★	△★	○	○	●				
ヒヨドリバナ	キク					△	△★	△★	★○●				
ヒロハホウキギク(7)	キク						△★	△★	★○●		●		
フキ	キク							△★	★○●				△★
フジ 植栽も	マメ		△★				○	○					
フジゲチガヤ	イネ			●17	●		○	○	○	○	○	○	○
ブタクサ	キク					△★	★○	○			○		

黒 黒 黒 茶 薄茶 薄茶 灰褐 薄茶 褐 白 褐

熟した実

種名	科名	4月4日	5月8日	6月8日	7月10日	8月7日	9月8日	10月6日	11月9日	12月7日	1月8日	2月8日	3月7日
ブタナ	キク	△	△★	★○	△★○●	★		△★○	★○	★	★		
フタリズカ	センリョウ		△★		○	○							
フツキシソウ	ツゲ	△★				△			△		△		△/★23
フデリンドウ	リンドウ	△★											
フトイ植栽	カヤツリグサ	△	△★	★○	★○	○●	●						
フリソデヤナギ 植栽	ヤナギ											△★	△★
ヘクソカズラ	アカネ					△★	△★○	○●	●		●		
ベニガクアジサイ 植栽	ユキノシタ			△									
ベニバナポロギク	キク					△★○●	△★○●	△★○●					
ヘビイチゴ	バラ	△★	△★○●	●	●					●			△★30
ヘラオオハコ	オオハコ	△★	△★○●	△★○	△★○●	△★○●	●						
ヘラバヒメジョオン	キク		△★27	△★	△★○●	△★○●	★○						
ホウチャクソウ	ユリ	△★	○	○	○	○	○●	●	●				
ホシクサ	ホシクサ						△★23	△★	●				
ホタルイ	カヤツリグサ		○										
ホタルカズラ	ムラサキ	△★											
ホタルブクロ	キキョウ		△24	△★	★○	○●	○	○	●				
ポタンヅル	キンポウゲ												
ホトケノザ	シソ	△★									●	△	
ホトトギス	ユリ												
ボントクタデ	タデ						△★						
マスキサ	カヤツリグサ		○	○●	○●	○●							
マツカゼソウ	ミカン					△★	△★○	★○	○●	●			
ママコノシリヌグイ	タデ				△★○	△★○●	△★○●	△★○●					
マユミ	ニシキギ	△/★15	△★	★○	○	○	○	○	●	●			
マルバアオダモ	モクセイ	△★	○	○	○	○	○	○	●	●	●		
マルバウツギ	ユキノシタ		●	○	○	○	○	○	○	○	●		
マルバハギ 植栽も	マメ					△★							
マルバヤハズソウ	マメ							○	●				
ミズキ	ミズキ	△/★30	△★○	○	○	○●	○●	○●	●				
ミズタマソウ	アカバナ					△★	★○	○	●				
ミズヒキ	タデ				△★	△★○	△★○	△★○	○●	●	●	●	
ミゾイチゴツナギ	イネ	△	○										
ミソバ	タデ						△★	△★○	★○	○			
ミチタネツケバナ	アブラナ												△★○24
ミツバ	セリ			△★28	△★	★○	○	●					
ミツバアケビ	アケビ	△★	○27	○	○	○	○	○					△24★30
ミツバツチグリ	バラ	△★											
ミドリハコベ	ナデシコ	△★○●	●	△★○●									△★23
ミミナグサ	ナデシコ	△★15	△★○										

緑

金茶

赤

褐色

黒紫

薄茶

薄茶

黒

茶

褐

紫

熟した実

種名	科名	4月4日	5月8日	6月8日	7月10日	8月7日	9月8日	10月6日	11月9日	12月7日	1月8日	2月8日	3月7日
ミヤギノハギ 植栽	マメ				△★			△★○	○		●		
ミヤコグサ	マメ	△	△★	△★○	★○●	△★○●	★○		★				
ミヤマウズラ(カ)								○21	○				
ミヤマナルコユリ		△	△★										
ムクノキ		△15★24		○	○	○	○	○●	○●	●			
ムサシアブミ		△★											
ムベ 植栽		△★											
ムラサキカタバミ				△★									
ムラサキケマン		△★○	△★○●										△★24
ムラサキサギゴケ(ク)		△★	△★○										
ムラサキシキブ				△★	○	○	○	○/●28	●	●			
ムラサキツメクサ 植栽も			△★	△★○	△★○●	△★○●	★	★	△★○				
ムラサキマムシグサ			△★						○●				
メアオスゲ			○										
メギ		△★15											
メタセコイア 植栽								○	○	●	△	●	△
メドハギ		●				△★	★	○	○●	●	●	●	●
メヒシバ						○	★○	○	○●				
メヤマツヨイグサ					△★○	△★○	△★○●	★○	●		●	●	●
メリケンカルカヤ						△★	○		●			●	●
モミジイチゴ		★○	○										△24★30
モミジガサ									△★	○			
ヤエムグラ		△/★15	△★○	○●						○			
ヤエヤマブキ 植栽も		△★15	△★										
ヤクシソウ										△★			
ヤツデ		○●							△★	△★○	○	○	○
ヤドリギ										△		△	
ヤナギタデ													
ヤハズエンドウ(カワノドク)		△★○	△★○	★○●				△★					△★30
ヤハズソウ							△★	○	○				
ヤブウツギ 植栽?			△★24										
ヤブカラシ				△/★28	△★/○29	△★○	△★○●	△★○●	●				
ヤブコウジ				△17★28	△★	★○	★○	○	●	●			
ヤブジラミ				△★17	△★○	○●	△★	★	○●	△★○●	●	●	●
ヤブタバコ							△★		○●	△★○	●	●	●
ヤブタバコ		△★	△★○	★○●									
ヤブツバキ												△★	△★
ヤブデマリ		△	△★	○									
ヤブニッケイ			△★	△★				●					

熟した実

種名	科名	4月4日	5月8日	6月8日	7月10日	8月7日	9月8日	10月6日	11月9日	12月7日	1月8日	2月8日	3月7日
ヤブニンジン		△★	○	○●									
ヤブヘビイチゴ		△★○	△★	●	★			★					
ヤブマメ						○	○				●		
ヤブミヨウガ							△★23	△★	○●				
ヤブムラサキ			△24	△★		△★	★○	★○●					
ヤブラン					△★	△★	△★○	○/●28	○●	●	●	●	●
ヤマアジサイ				△/★26	★○	○	○	○	○	○	●		
ヤマアワ				△17★28	○								
ヤマイ					△★	△★○	○●	●	●	●			
ヤマエンゴサク 植栽		★											△24★30
ヤマカモジグサ			△19	△★	○	○●							
ヤマグワ		△★/○15	○	○●									△30
ヤマコウバシ		△22											
ヤマザクラ		△★	○●	●									△24
ヤマツツジ			△★										
ヤマニガナ					△★24	★○	△★						
ヤマノイモ		●			△29	△★	★○	○む	●む	●	●	●	●
ヤマハギ					△★	△★		★					
ヤマハゼ 植栽も		△	△	○	○	○	○	○	○	●			
ヤマハタザオ			△★○										
ヤマハツカ									★				
ヤマブキ 植栽も		△★	○										
ヤマフジ バス停		△★22	△★										
ヤマボウシ 植栽			△	△★		○							
ヤマホタルブクロ				△★	★								
ヤマホトトギス						△	△★						
ヤマミズ									△★○				
ヤマムグラ			△2★16	○									
ヤマモモ 植栽		△★/○15	○	○/●17								△	△/★30
ヤマユリ				△	△★	○	○	○			●		
ヤマラッキョウ									△★				
ヤマルリソウ(♀)		△★○	○	○									△★24
ヤワラステ			★	○									
ユキノシタ			△/★24	△★○		●							
ユキヤナギ 植栽		★○		○●									△★30
ヨウシユヤマゴボウ													
ヨゴレネコノメ		★○	○			△	○	○●					△/★24
ヨモギ							△	△★	○●	●	●	●	●
リュウノウギク									★	★○			

茶

紫→褐

黒

茶

黒

赤

茶

茶

桃

黒

熟した実
薄茶
果?

種名	科名	4月4日	5月8日	6月8日	7月10日	8月7日	9月8日	10月6日	11月9日	12月7日	1月8日	2月8日	3月7日
リンドウ	リンドウ							△	△★	△★○	○	●	
レモンエゴマ	シソ							△★					
ワルナスビ	ナス				△★								
ワレモコウ	バラ							△					
	その他												
ツクシ	トクサ	あり											あり23
イヌドクサ	トクサ		あり24	あり	あり								
オオハナワラビ	ハナワラビ						あり14	あり	あり				
フユノハナワラビ	ハナワラビ								あり				

・・投稿される方へ・・・・・・・・

横浜自然観察の森では、レンジャー、ボランティア、研究者、大学生など多くの人によって、各種の調査が行なわれています。そこで、日本野鳥の会レンジャーがこれらの結果を毎年調査報告書としてまとめ、調査活動、自然解説を行なう上での資料として活用できるようにしています。つきましては、下記の要領で調査の報告を提出して下さいますよう、お願いいたします。

■調査報告書の目的■

横浜自然観察の森で行われているすべての調査活動・調査項目・調査場所・調査者のリストアップと、調査により得られた情報の公開、共有。

■投稿内容■

横浜自然観察の森または円海山緑地に関わる調査、および横浜自然観察の森のボランティアが行った調査(他の場所でもOK)の活動報告とその結果。生物や自然だけでなく、アンケート調査、自然解説の手法の効果測定なども対象とします。2008年度の調査だけでなく、過去の調査の報告でもかまいません。

■形式■「かんたんな報告」と「くわしい報告」の2種類あります。どちらか一方をお書き下さい。

■〆切■ 2009年3月15日 当日が調査期間中等にあたり、提出が難しい方は、ご連絡ください。

■投稿先・問い合わせ連絡先■

横浜自然観察の森 〒247-0013 横浜市栄区上郷町 1562-1

TEL : 045-894-7474 FAX :045-894-8892

E-mail: sibata@wbsj.org 柴田まで(ご不明な点はお気軽にご連絡ください。)

「かんたんな報告」の書き方

1. 次ページの書式に沿って、書ける項目だけ記入して下さい。
2. 「調査者」の欄には、必ず氏名を書き、氏名の後に()で所属を書いて下さい。
例:藤田 薫(横浜自然観察の森友の会・ヤマガラ大好きプロジェクト)
調査者が複数の時には、全員の氏名を書いて下さい。
3. 図や表は「方法」や「結果」の欄に切り貼りしても、最後にまとめて添付されても構いません。
4. 原稿はプリントアウトしたものを送っていただくか、Excel 形式で入力したものを添付ファイルでお送り下さい。
 - ・手書きの方は、紙が足りないときには、コピーして使って下さい。
 - ・コンピューター等を使い自分で枠を作って打ち込む方は、A 4 縦置きで、上 3cm, 下 4cm, 左右 2.5cm の余白をとってください。各項目の行数は、変更して構いません。

横浜自然観察の森調査報告 14 (2008)

調査名
調査者名(所属)
調査場所
調査日 200 年 月 日
調査開始 年 次年度 継続／終了 終了予定 ー 年
調査目的
調査方法

調査結果

引用した本・文献

「くわしい報告」の書き方

1. 提出方法について

Word形式で原稿を保存したフロッピーディスクを郵送, または, Word形式でメールにてお送りください。

図は, A4サイズの用紙に書いて郵送, または, ExcelかWord形式でメールにてお送り下さい。編集の手間を省くため, 図は, 本文の最後にまとめて載せさせていただきますので, ご了承下さい。

2. 全体について

報告は, できる限り短く書いて下さい。図や表もできるだけ少なくします。

表よりは図で表現する方がよいと言われています。図であれば, 一目で理解できることも, 表になると理解するのに時間がかかってしまうからです。

3. 構成について

(1) タイトル／ 調査の内容についてわかるようなタイトルをつけます。

(2) 著者名と著者の所属・連絡先住所／

(3) はじめに／ 観察や調査を行なった動機・目的を書きます。同じテーマで, 過去に行われた調査では, どこまで明らかになっているかなども, ここに書きます。

(4) 調査地と調査方法／

調査地について簡潔に書きます。調査地の環境については, 報告のテーマに関係ないときには簡潔に, テーマに関係あるときにはくわしく書きます。

調査期間として, 何年の何月から何月まで観察したかを書き, 合計観察時間や日数も入れます。調査方法としては, どのように調査したかを, 他の人が, 同じ方法で繰り返し同じ調査ができる程度に詳しく書きます。

(5) 結果／ 自分の調査でわかったことを書きます。

(6) 考察／ 自分の結果から考えられる結論だけを書くようにします。自分の調査でどうしてそういう結果になったのかを, 他の研究を引用しながら, 考察したり, 他の研究と結果を比較したりします。

(7) 謝辞／ 調査を手伝ってくださった方, 調査計画をたてる時や論文を書く時に相談ののってくれた方や, 助成金をもらっている場合は, どこからもらったのかを明記し, 謝辞をのべます。

(8) 要約／ 短くまとめて論文内容全体の紹介をする場所です。自分の調査の結果どんなことがわかったのかをできるだけわかりやすく, 短くまとめます。

(9) 引用文献／ 報告の本文中で引用した文献を, すべて書きます。

雑誌の場合: 著者名, 発表年. 論文表題. 掲載雑誌名 巻号: ページ.

本の場合 : 著者名, 発表年. 表題. 総ページ数, 発行所, 発行地.

・・本調査報告書を利用・引用される方へ・・・・・・・・

個人が研究論文などの著作物に引用する場合は、必ず出典を明示して下さい。行政または調査会社が、業務として作成する報告書などに引用する場合は、必ず事前に引用の許可を求めて下さい。場合によっては、引用をお断りする場合もありますので、ご了承下さい。

また、表やグラフを引用する場合は、改編などはせずに、そのまま引用するようよろしくお願いいたします。

横浜自然観察の森調査報告 13

2008年8月発行

編集・発行／（財）日本野鳥の会 サンクチュアリ室

〒141-0031 東京都品川区西五反田 3-9-23 丸和ビル

TEL 03-5436-2634 / FAX 03-5436-2635

ホームページ URL : <http://www.wbsj.org>

（編集者：サンクチュアリ室 横浜自然観察の森担当 柴田英美）

連絡先／横浜自然観察の森

〒247-0013 横浜市栄区上郷町 1562-1

TEL 045-894-7474 / FAX 045-894-8892

ホームページ URL : <http://www.wbsj.org/sanctuary/yokohama>

E-mail : yokohama-nc@wbsj.org

＊＊無断転載を禁じます＊＊